

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2023年6月9日提出
【計算期間】	第20期(自 2022年3月11日 至 2023年3月10日)
【ファンド名】	明治安田TOPIXオープン
【発行者名】	明治安田アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西尾 友宏
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町二丁目3番2号
【事務連絡者氏名】	植村 吉二
【連絡場所】	東京都千代田区大手町二丁目3番2号
【電話番号】	03-6700-4111
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

明治安田TOPIXオープンは、「明治安田TOPIXマザーファンド」への投資を通じて、TOPIX（東証株価指数）の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

当ファンドは一般社団法人投資信託協会が定める分類方法において以下の通りとなっております。

・商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）	補足分類
単位型 追加型	国内 海外 内外	株式 債券 不動産投信 その他資産（ ） 資産複合	インデックス型 特殊型

（注）当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

< 商品分類表（網掛け表示部分）の定義 >

追加型

一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。

国内

目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

株式

目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

インデックス型

目論見書または投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果をめざす旨の記載があるものをいいます。

・属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	対象インデックス
株式 一般	年1回	グローバル (日本含む)		
大型株	年2回			
中小型株	年4回	日本		
債券		北米	ファミリー ファンド	日経225
一般	年6回 (隔月)	欧州		
公債		アジア		
社債	年12回 (毎月)	オセアニア	ファンド・オブ・ ファンズ	TOPIX
その他債券 クレジット属性 ()	日々	中南米		その他 ()
不動産投信	その他 ()	アフリカ		
その他資産 (投資信託証券 (株式 一般))		中近東 (中東)		
資産複合 ()		エマージング		
資産配分固定型 資産配分変更型				

<属性区分表（網掛け表示部分）の定義>

その他資産（投資信託証券（株式 一般））

目論見書または投資信託約款において、投資信託証券（投資形態がファミリーファンドまたはファンド・オブ・ファンズのものをいいます。）を通じて主として株式のうち大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのものに投資する旨の記載があるものをいいます。

年1回

目論見書または投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。

日本

目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

ファミリーファンド

目論見書または投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものをいいます。

TOPIX

目論見書または投資信託約款において、TOPIX（東証株価指数）に連動する運用成果をめざす旨の記載があるものをいいます。

当ファンドが該当しないその他の商品分類および属性区分の定義等については、一般社団法人投資信託協会ホームページ（URL:<https://www.toushin.or.jp/>）で閲覧が可能です。

信託金の限度額：上限 1,000億円

委託会社は、受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

ファンドの特色

明治安田TOPIXマザーファンドへの投資を通じて、TOPIX（東証株価指数）の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

TOPIXは、株式会社JPX総研が算出する株価指数であり、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

- ・TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出若しくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出若しくは公表の停止又はTOPIXに係る標章若しくは商標の変更若しくは使用の停止を行うことができます。JPXは、TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標の使用に関して得られる結果並びに特定日のTOPIXの指数値について、何ら保証、言及をするものではありません。JPXは、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。また、JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本件商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではありません。JPXは、本件商品の購入者又は公衆に対し、本件商品の説明又は投資のアドバイスをする義務を負いません。JPXは、当社又は本件商品の購入者のニーズをTOPIXの指数値を算出する銘柄構成及び計算に考慮するものではありません。上記に限らず、JPXは本件商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても責任を有しません。

TOPIX（東証株価指数）構成銘柄を中心に、TOPIXとの連動性を考慮し株式の組入れを行います。

運用の効率化を図るため、株価指数先物取引を行う場合があります。

株式（株価指数先物取引を含みます。）の実質組入比率は、高位を保ちます。

対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し、株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。

非株式割合（他の投資信託受益証券を通じて投資する場合は、当該他の投資信託の信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）は、原則として信託財産総額の50%以下とします。

（２）【ファンドの沿革】

2003年 5月23日 信託契約締結、ファンドの設定、ファンドの運用開始

2009年 4月 1日 ファンドの名称を「明治ドレスナーTOPIXオープン」から「MDAM・TOPIXオープン」に変更

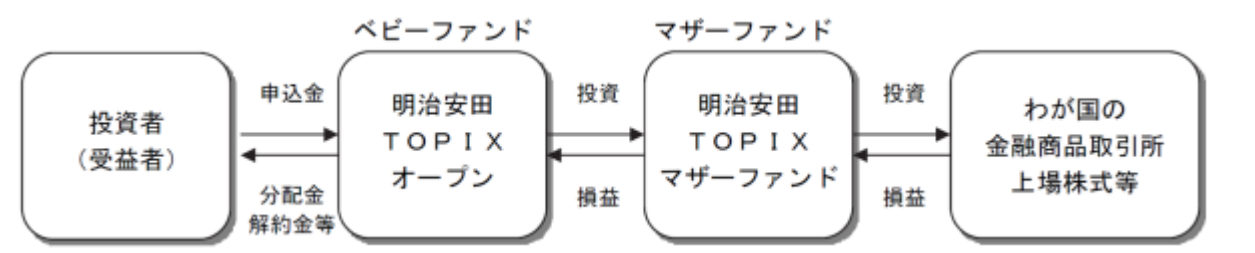
2010年10月 1日 ファンドの名称を「MDAM・TOPIXオープン」から「明治安田TOPIXオープン」に変更

（３）【ファンドの仕組み】

ファンドの仕組み

運用にあたってはファミリーファンド方式を採用し、主として、「明治安田TOPIXマザーファンド」受益証券に投資することにより、実質的な運用をマザーファンド（以下「親投資信託」ともいいます。）で行う仕組みになっています。

「ファミリーファンド方式」とは、お客さまからご投資いただいた資金をベビーファンドとしてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。



損益はすべて投資者である受益者に帰属します。

委託会社等およびファンドの関係法人

1. 委託会社（委託者）： 明治安田アセットマネジメント株式会社

信託財産の運用指図、投資信託説明書（目論見書）および運用報告書の作成等を行います。

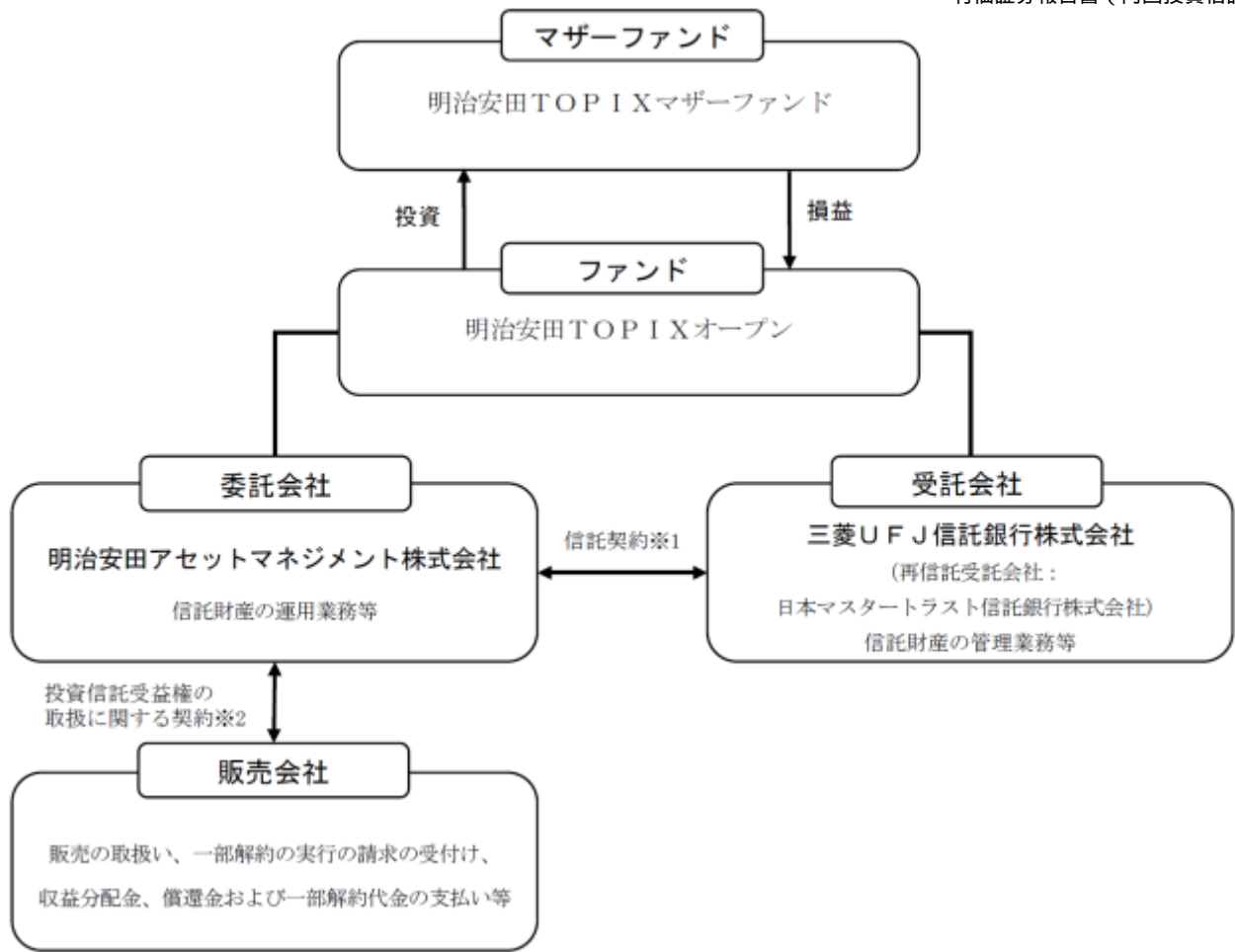
2. 受託会社（受託者）： 三菱UFJ信託銀行株式会社

信託財産の保管・管理業務等を行います。

（受託会社は信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することがあります。）

3. 販売会社

ファンドの販売会社として募集・販売の取扱い、一部解約実行の請求の受付、収益分配金、償還金等の支払い、運用報告書の交付等を行います。



1 信託契約

委託会社と受託会社との間において「信託契約（信託約款）」を締結しており、委託会社および受託会社の業務、受益者の権利、投資信託財産の運用・評価・管理、収益の分配、信託期間、償還等を規定しています。

2 投資信託受益権の取扱いに関する契約

委託会社と販売会社との間において「投資信託受益権の取扱いに関する契約」を締結しており、販売会社が行う募集・販売等の取扱い、収益分配金および償還金の支払い、買取りおよび解約の取扱い等を規定しています。

委託会社等の概況

1. 資本金の額（本書提出日現在） 10億円

2. 委託会社の沿革

- 1986年11月： コスモ投信株式会社設立
 1998年10月： ディーアンドシーキャピタルマネージメント株式会社と合併、商号を「コスモ投信投資顧問株式会社」に変更
 2000年2月： 商号を「明治ドレスナー投信株式会社」に変更
 2000年7月： 明治ドレスナー・アセットマネジメント株式会社と合併、商号を「明治ドレスナー・アセットマネジメント株式会社」に変更
 2009年4月： 商号を「MDAMアセットマネジメント株式会社」に変更
 2010年10月： 安田投信投資顧問株式会社と合併、商号を「明治安田アセットマネジメント株式会社」に変更

3. 大株主の状況（本書提出日現在）

氏名又は名称	住 所	所有 株式数	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内二丁目1番1号	17,539株	92.86%
アリアンツ・グローバル・ インベスターズ ゲー・エム・ベー・ハー	ドイツ, 60323 フランクフルト・ アム・マイン, ボッケンハイマー・ ラントシュトラッセ 42-44	1,261株	6.68%
富国生命保険相互会社	東京都千代田区内幸町2-2-2	87株	0.46%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

運用方針

「明治安田TOPIXマザーファンド」への投資を通じて、TOPIX（東証株価指数）の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

運用の形態等

ファミリーファンド方式を利用してTOPIX（東証株価指数）をベンチマークとしたパッシブ運用を行います。

投資対象

明治安田TOPIXマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドにおいて直接、わが国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、TOPIX（東証株価指数）先物取引を行うことがあります。

投資態度

1. TOPIX（東証株価指数）構成銘柄を中心に、TOPIXとの連動性を考慮し株式の組入れを行います。
2. 運用の効率化を図るため、株価指数先物取引を行う場合があります。
3. 株式（株価指数先物取引を含みます）の実質組入比率は、高位を保ちます。
4. 対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し、株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。
5. 運用にあたっては、当社の投資プロセスでポートフォリオの構築、リスクコントロールを行います。
6. 非株式割合（他の投資信託受益証券を通じて投資する場合は、当該他の投資信託の信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）は、原則として信託財産総額の50%以下とします。
7. 資金動向、市況動向等の事情によっては、前記のような運用が出来ない場合があります。

（参考）親投資信託の概要

「明治安田TOPIXマザーファンド」

投資の基本方針

1 基本方針

TOPIX（東証株価指数）の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

2 運用方法

（1）投資対象

わが国の金融商品取引所に上場されている株式およびTOPIX（東証株価指数）先物取引を主要投資対象とします。

（2）投資態度

TOPIX（東証株価指数）構成銘柄を中心に、TOPIXとの連動性を考慮し株式の組入れを行います。

運用の効率化を図るため、株価指数先物取引を行う場合があります。

株式（株価指数先物取引を含みます）の実質組入比率は、高位を保ちます。

対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し、株式の投資比率が100%を超える場合があります。

運用にあたっては、当社の投資プロセスでポートフォリオの構築、リスクコントロールを行います。

〔投資対象ユニバースの決定〕

TOPIXに採用されている銘柄（採用予定銘柄を含む）から、信用リスクが極めて高い銘柄を除外した投資対象となる銘柄群リスト（投資対象ユニバース・リスト）を作成します。

〔組入銘柄および株数の決定〕

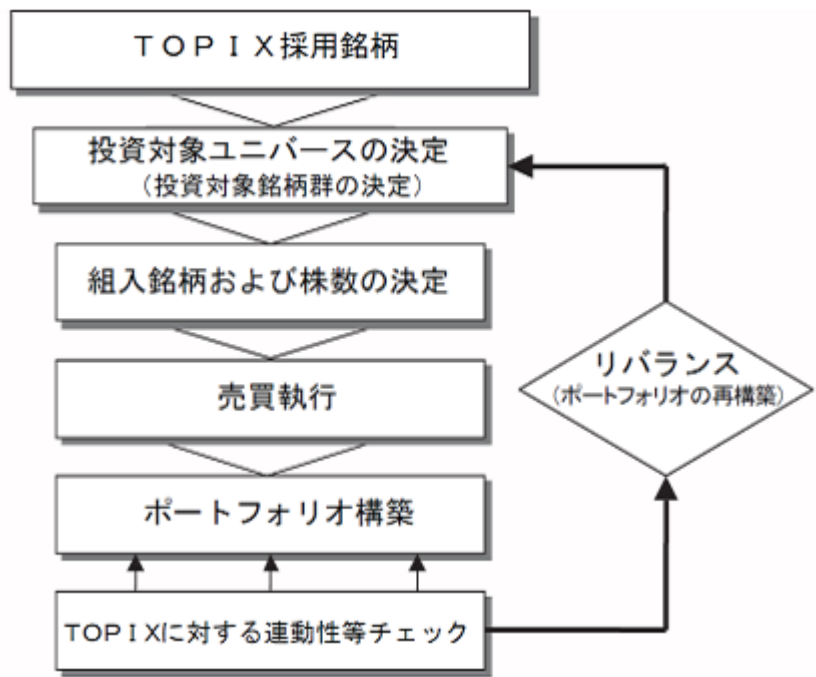
ファンドの純資産総額や個別銘柄の市場流動性、売買コスト等を勘案してTOPIXに近づくように一定の方法（最適化法）を用いて投資対象ユニバースの中から実際に買付けを行う銘柄のリストおよび株数を割り出します。

〔ポートフォリオの構築〕

運用担当者から指示を受けた専任のトレーダーが、市場でのマーケット・インパクトや取引コストを最小化するように株式を売買発注し、ポートフォリオを完成させます。

〔リバランス〕

日次、月次でTOPIXとの連動性をチェックします。連動性が低まったと判断した場合には、売買コストを考慮しつつ組入銘柄の見直しを行い、ポートフォリオを再構築（リバランス）します。また、ファンドの資金流入やTOPIX採用銘柄の入れ替えが行われた場合等にもリバランスを実施する場合があります。



非株式割合は、原則として信託財産総額の50%以下とします。

資金動向、市況動向、残存信託期間等の事情によっては、上記のような運用が出来ない場合があります。

(3) 投資制限

株式への投資割合には制限を設けません。

新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

外貨建資産への投資は行いません。

信用取引は、約款所定の範囲で行います。

有価証券先物取引等は、約款所定の範囲で行います。

スワップ取引は、約款所定の範囲で行います。

有価証券の貸付けおよび資金の借入れは、約款所定の範囲で行います。

（２）【投資対象】

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款に定めるものに限ります。）

ハ．約束手形（金融商品取引法第2条第1項第15号に掲げるものを除きます。）

ニ．金銭債権

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として「明治安田TOPIXマザーファンド」受益証券ならびに次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。本邦通貨表示のものに限ります。）に投資することを指図します。

1. 株券または新株引受権証券

2. 国債証券

3. 地方債証券

4. 特別の法律により法人の発行する債券

5. 社債券（新株引受権証券と社債券が一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6. 特定目的会社に係る特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）

8. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）

9. 特定目的会社に係る優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）

10. コマーシャル・ペーパー

11. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券

12. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1. から11. の証券または証書の性質を有するもの

13. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）

14. 投資証券もしくは投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）

15. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）

16. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）

17. 外国法人が発行する譲渡性預金証書

18. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

19. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）

20. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの

21. 外国の者に対する権利で前20.の有価証券の性質を有するもの

なお、上記1.の証券または証書、上記12.ならびに16.の証券または証書のうち上記1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、上記2.から6.までの証券および上記12.ならびに16.の証券または証書のうち上記2.から6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、上記13.および14.の証券を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、上記 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金

2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）

3. コール・ローン

4. 手形割引市場において売買される手形

5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの

6. 外国の者に対する権利で前1.から5.の権利の性質を有するもの

(3) 【運用体制】

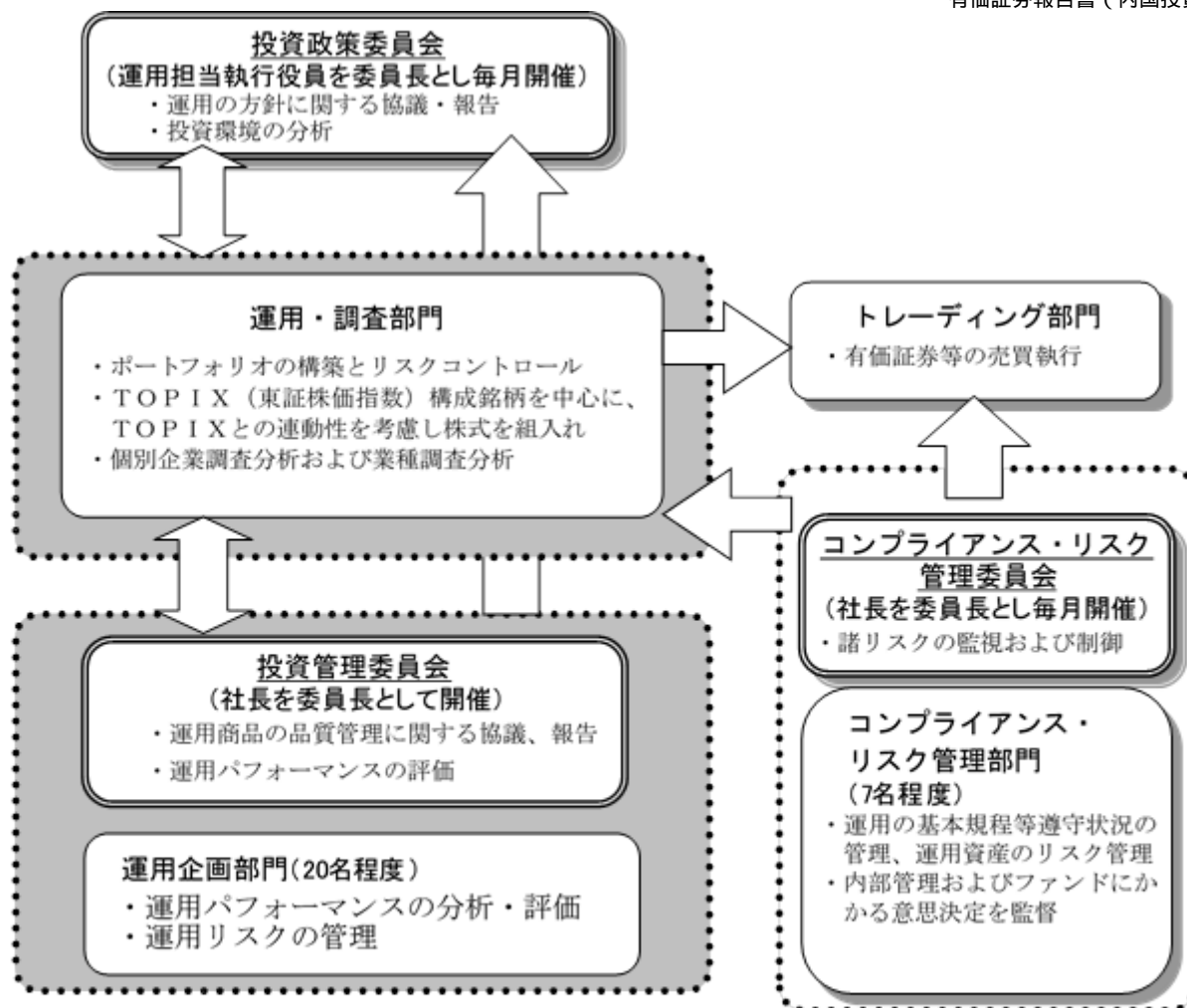
当ファンドの運用体制は以下の通りです。

投資政策委員会にて、マクロ経済環境・市況環境に関する分析、資産配分・資産毎の運用戦略に関する検討を行います。

ファンドの運用担当者は、投資政策委員会における分析・検討等を踏まえて運用計画を策定し、運用計画に基づき、有価証券等の売買をトレーディング部門に指図します。

ファンドに関する運用の基本規程等の遵守状況の管理、運用資産のリスク管理は、運用部門から独立したコンプライアンス・リスク管理部、運用企画部が中心となって行います。

投資管理委員会にて、ファンドの運用パフォーマンスの評価等を行い、これを運用部門にフィードバックすることにより、より精度の高い運用体制を維持するよう努めています。



- ファンド運用に関する社内規程として、「投資一任契約および信託財産の運用業務に関する基本規程」および基本規程に付随する細則等の取扱い基準を設けております。
- ファンドの関係法人に対する管理は、管理関連部門において適正に管理しております。

ファンドの運用体制等は、本書提出日現在のものであり、今後変更となることがあります。

また、委託会社のホームページ（<https://www.myam.co.jp/>）の会社案内から、運用体制に関する情報がご覧いただけます。

< 受託会社に対する管理体制 >

当社では、受託会社または受託会社の再信託先に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っています。また、受託業務の内部統制の有効性についての監査人による報告書を、受託会社より受け取っております。

（４）【分配方針】

収益分配方針

年1回（3月10日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

1. 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
2. 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入を中心に決定します。
3. 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

収益の分配方式

1. 信託財産から生ずる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。
 - a. 配当金、利子、貸付有価証券に係る品貸料およびこれ等に類する収益から支払利息を控除した額（以下「配当等収益」といいます。）は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除した後、その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。
 - b. 売買損益に評価損益を加減した利益金額（以下「売買益」といいます。）は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。
2. 毎計算期末において信託財産につき生じた損失は、次期に繰越します。

収益分配金の支払い

収益分配金は、毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日から（原則として決算日から起算して5営業日までに）、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に支払います。収益分配金の支払いは販売会社において行います。ただし、分配金再投資コースでお申込みの受益権にかかる収益分配金は、原則として税金を差し引いた後、決算日の基準価額で翌営業日に自動的に再投資され、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

（５）【投資制限】**<投資信託約款に基づく投資制限>****株式への投資制限**

株式への実質投資割合 には制限を設けません。

実質投資割合とは、当ファンドが保有するある種類の資産の評価額が当ファンドの純資産総額に占める比率（「組入比率」といいます。）と、当該同一種類の資産のマザーファンドにおける組入比率に当該マザーファンド受益証券の当ファンドにおける組入比率を乗じて得た率を合計したものをいいます。以下同じ。

新株引受権証券等の投資制限

新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

投資信託証券の投資制限

投資信託証券（マザーファンド受益証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

外貨建資産への投資制限

外貨建資産への投資は行いません。

信用リスク集中回避のための投資制限

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

投資する株式等の範囲

1. 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとし、ただし、株主割または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。
2. 上記1. にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託会社が投資することを指図することができるものとし、

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資制限

1. 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図を行いません。
2. 上記1. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。信託財産の一部解約等の事由により、上記1. の売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付けの一部を決済するための指図をするものとし、

信用取引の指図範囲

1. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引き渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
2. 上記1.の信用取引の指図は、当該売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
3. 信託財産の一部解約等の事由により、上記2.の売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付けの一部を決済するための指図をするものとします。

先物取引等の運用指図・目的・範囲

1. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。
2. 委託会社は、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

スワップ取引の運用指図・目的・範囲

1. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
2. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、ファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
3. スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の合計額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
4. スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
5. 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

デリバティブ取引等にかかる投資制限

デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。

有価証券の貸付けの指図および範囲

1. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の各号の範囲内で貸付けの指図をすることができます。
 - a. 株式の貸付けは、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。

- b. 公社債の貸付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
2. 前項各号に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
3. 委託会社は、有価証券の貸付けにあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

資金の借入れ

1. 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。)を目的として、および再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
2. 上記1.の資金借入額は、次に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
- a. 一部解約に伴う支払資金の手当てにあたっては、一部解約金の支払資金の手当のために行った有価証券等の売却または解約等ならびに有価証券等の償還による受取りの確定している資金の額の範囲内
- b. 再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てにあたっては、収益分配金の再投資額の範囲内
- c. 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
3. 一部解約に伴う支払資金の手当てのための借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する金融商品の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とします。
4. 再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てのための借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとします。
5. 借入金の利息は信託財産中より支弁します。

<法律等で規制される投資制限>

同一法人の発行する株式への投資制限

委託会社は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、投資信託財産として有する当該株式にかかる議決権の総数が、当該株式にかかる議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、投資信託財産をもって取得することを受託会社に指図しないものとします。

デリバティブ取引にかかる投資制限

委託会社は、信託財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的方法により算出した額が当該信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引(新株予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。)を行い、または継続することを受託会社に指図しないものとします。

3【投資リスク】

(1) ファンドのリスクと留意点

明治安田TOPIXオープンは、直接あるいはマザーファンドを通じて、株式など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。

したがって、金融機関の預貯金と異なり投資元本は保証されず、元本を割り込むおそれがあります。また、ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

なお、ファンドが有する主なリスク等は、以下の通りです。

値動きの主な要因

1. 株価変動リスク

株式の価格は、政治・経済情勢、金融情勢・金利変動等および発行体の企業の事業活動や財務状況等の影響を受けて変動します。保有する株式価格の下落は、ファンドの基準価額を下げる要因となります。

2. 信用リスク

投資している有価証券等の発行体において、利払いや償還金の支払い遅延等の債務不履行が起こる可能性があります。

また、有価証券への投資等ファンドに関する取引において、取引の相手方の業績悪化や倒産等による契約不履行が起こる可能性があります。

基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他のリスク・留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価額で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

当ファンドはTOPIX（東証株価指数）に連動する投資成果を目指しますが、基準価額と指数が完全に一致するものではありません。また、投資成果が指数を連動または上回ることを保証するものではありません。

有価証券を売買しようとする際、需要または供給が少ない場合、希望する時期・価格・数量による売買ができなくなることがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式には運用の効率性等の利点がありますが、マザーファンドにおいて他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う売買等を行う場合には、当ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

資金動向、市況動向等によっては、投資方針に沿う運用ができない場合があります。

収益分配は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。））を超えて行われる場合があるため、分配水準は必ずしも当該計算期間中の収益率を示すものではありません。

投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況により、分配金額の全部または一部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

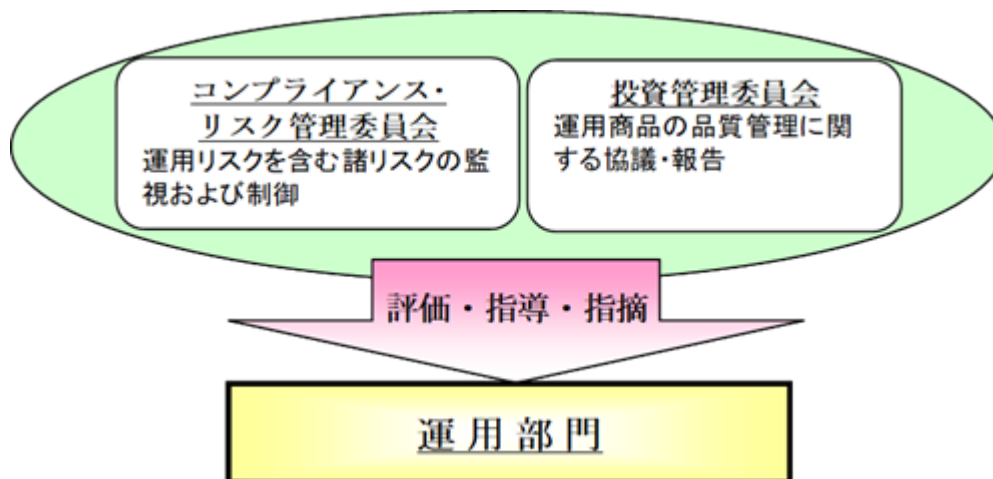
分配金は純資産から支払われるため、分配金支払いに伴う純資産の減少により基準価額が下落する要因となります。当該計算期間中の運用収益を超える分配を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べ下落することとなります。

（２）リスク管理体制

ファンドの運用にあたっては、社内規程や運用計画に基づき、運用部門が運用プロセスの中でリスクコントロールを行います。また、運用部門から独立した部署により諸リスクの状況が確認され、各種委員会等において協議・報告される体制となっています。

コンプライアンス・リスク管理委員会は、法令諸規則・社内規程等の遵守状況、運用資産のリスク管理状況等を把握・管理し、必要に応じて指示・指摘を行います。

投資管理委員会は、運用パフォーマンスの評価・分析、トレーディング分析、運用スタイル・運用方針との整合性、投資信託財産の運用リスク等を把握・管理し、必要に応じて指導・指摘を行います。



<流動性リスク管理体制>

流動性リスクについては、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。

取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理体制について、監督します。

ファンドのリスク管理体制等は、本書提出日現在のものであり、今後変更となることがあります。

(3) 参考情報

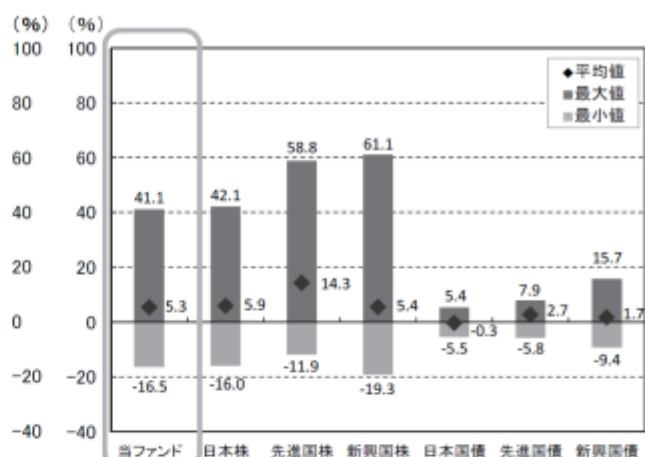
当ファンドの年間騰落率および
分配金再投資基準価額の推移

※グラフは、ファンドの5年間の各月末における分配金再投資基準価額（税引前の分配金を再投資したものととして算出しており、実際の基準価額と異なる場合があります。以下同じ。）および各月末における直近1年間の騰落率を表示しています。

※年間騰落率のデータは、各月末の分配金再投資基準価額をもとに計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

当ファンドと他の代表的な
資産クラスとの騰落率の比較

対象期間：2018年4月～2023年3月



※グラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、5年間の各月末における直近1年間の騰落率データ（60個）を用いて、平均、最大、最小を表示したものです。

※ファンドの年間騰落率のデータは、各月末の分配金再投資基準価額（税引前の分配金を再投資したものととして算出）をもとに計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※すべての資産クラスが、当ファンドの投資対象とは限りません。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名称	権利者
日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社
先進国株	MSCI-KOKUSAI (配当込み・円換算ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円換算ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI (国債)	野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JP モルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 海外指数は、対円での為替ヘッジなしによる投資を想定して、各月末の指数値を円換算または円ベースとしています。

※各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、上記に記載の各権利者に帰属します。

また、各権利者は、当ファンドの運用成果等に関し一切責任を負いません。

< 代表的な資産クラスの指数について >

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAIは、MSCI Inc.が算出する日本を除く世界主要国の株式市場を捉える指数として広く認知されているものであり、MSCI-KOKUSAI 指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が算出する新興国の株価の動きを表す代表的な指数であり、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

NOMURA - BPI（国債）は、日本国債の市場全体の動向を表す、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド）は、J.P.Morgan Securities LLC（JPモルガン）が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、JPモルガンの知的財産です。JPモルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

申込手数料は、取得申込受付日の基準価額に申込口数を乗じた額に、2.2%（税抜2.0%）を上限として各販売会社が別途定める率を乗じて得た金額となります。

購入時手数料は、購入時の商品説明、事務手続き等の対価として販売会社にお支払い頂きます。詳細については、お申込みの各販売会社までお問合わせください。

確定拠出年金制度に基づくお申込みの場合は、購入時手数料はかかりません。

「税抜」における税とは、消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）相当額をいいます（以下同じ。）。

分配金再投資コースでお申込みの受益者が販売会社との間で結んだ「自動継続投資契約（販売会社により名称が異なる場合があります。以下同じ。）」に基づいて収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

(2)【換金（解約）手数料】

解約手数料および信託財産留保額はありません。

(3)【信託報酬等】

ファンドの純資産総額に対し、年0.66%（税抜0.6%）の率を乗じて得た額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの日々の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。運用管理費用（信託報酬）の実質的な配分は以下のとおりです。

<内訳>

配分	料率（年率）
委託会社	0.286%（税抜0.26%）
販売会社	0.275%（税抜0.25%）
受託会社	0.099%（税抜0.09%）
合計	0.66%（税抜0.6%）

<内容>

支払い先	役務の内容
委託会社	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類（目論見書、運用報告書、有価証券報告書・届出書等）の作成・印刷・交付および届出等にかかる費用の対価
販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	ファンド財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
合計	信託報酬 = 運用期間中の日々の基準価額 × 信託報酬率

販売会社への配分については、委託会社が委託者報酬として信託財産から一旦収受した後、販売会社が行う業務に対する代行手数料として販売会社に支払われます。

（４）【その他の手数料等】

ファンドは以下の費用も負担します。

信託財産の監査にかかる費用（監査費用）として監査法人に年0.0055%（税抜0.005%）を支払う他、有価証券等の売買の際に売買仲介人に支払う売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、その他信託事務の処理に要する費用等がある場合には、信託財産でご負担いただきます。

信託財産において一部解約に伴う支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行った場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

その他の費用については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示することができません。また、監査費用は監査法人等により見直され、変更される場合があります。

当該手数料等の合計額については、投資者の皆さまの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

（５）【課税上の取扱い】

個人、法人別の課税の取扱いについて

１．個人の受益者に対する課税

< 収益分配金（普通分配金）に対する課税 >

個人の受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、以下の税率による源泉徴収（申告不要）となります。なお、確定申告による申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

税率
20.315%（所得税15.315%、地方税5%）

< 一部解約時および償還時に対する課税 >

一部解約時および償還時の差益（解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、以下の税率による申告分離課税が適用されます。なお、源泉徴収ありの特定口座を選択している場合は、源泉徴収（原則として、確定申告は不要）となります。

税率
20.315%（所得税15.315%、地方税5%）

< 損益通算について >

一部解約時および償還時の損失については、確定申告等により、上場株式等（特定公社債、公募公社債投資信託を含みます。以下同じ。）の譲渡益と相殺することができ、上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）および利子所得の金額との損益通算も可能となります。また、翌年以後3年間、上場株式等の譲渡益および配当等・利子から繰越控除することができます。一部解約時および償還時の差益については、他の上場株式等との譲渡損との相殺が可能となります。詳しくは販売会社にお問合わせください。

２．法人の受益者に対する課税

法人の受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については、以下の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。源泉徴収された所得税は、法人税の額から控除できます。

税率
15.315%（所得税15.315%）

個別元本方式について

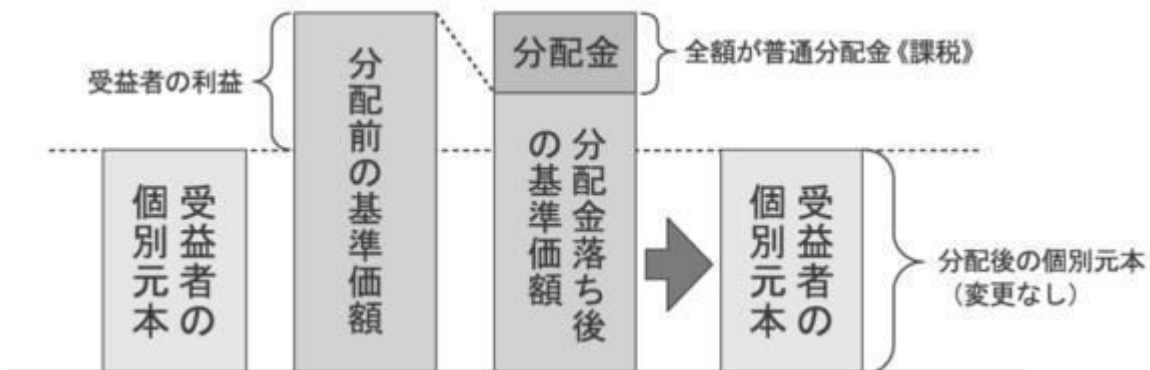
1. 追加型株式投資信託について、受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等相当額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。
2. 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合には各販売会社毎に、個別元本の算出が行われます。また、同一取扱販売会社であっても複数支店で同一ファンドを取得する場合は当該支店毎に、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の両コースで取得する場合はコース別に、個別元本の計算が行われる場合があります。
3. 受益者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金の課税について

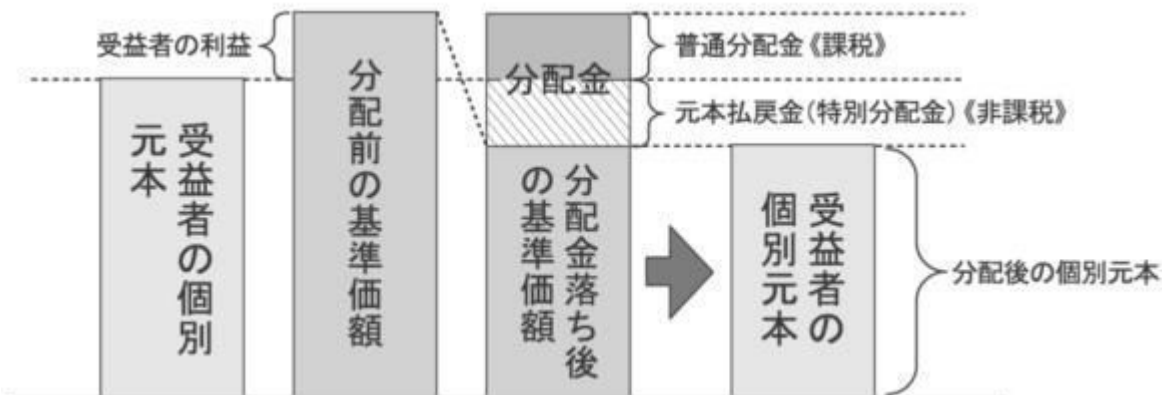
収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払い戻しに相当する部分）があります。

1. 収益分配金落ち後の基準価額が、当該受益者の個別元本と同額の場合または受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。
2. 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。なお、収益分配金の発生時に、その個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の受益者の個別元本になります。

1. の場合



2. の場合



上記の図はイメージ図であり、個別元本、基準価額および分配金の各水準等を示唆するものではありません。

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

当ファンドは、配当控除が可能です。益金不算入制度の適用はありません。

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）、ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。

<少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)、ジュニアNISA(ニーサ)」をご利用の場合>

NISA(ニーサ)をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。ご利用になることができるのは、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方が対象となります。

ジュニアNISA(ニーサ)をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。未成年者のために、原則として親権者等が代理で運用を行い、払出しが制限されます。ご利用になることができるのは、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方が対象となります。

詳しくは、販売会社へお問合わせください。

外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税および地方税がかかりません。

上記は2023年3月末現在のもので、税法が改正された場合等は、上記内容が変更されることがあります。課税上の取扱いの詳細は、税務専門家に確認されることをお勧めいたします。

5【運用状況】

以下は2023年3月31日現在の運用状況です。

投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資比率の合計は四捨五入の関係で合わない場合があります。

マザーファンドの運用状況は、当ファンドの後に続きます。

(1)【投資状況】

明治安田TOPIXオープン

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	155,421,402	99.90
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		151,083	0.10
合計(純資産総額)		155,572,485	100.00

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

明治安田TOPIXオープン

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	明治安田TOPIX マザーファンド	43,441,709	3.5850	155,742,313	3.5777	155,421,402	99.90

ロ. 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.90
合計	99.90

【投資不動産物件】

明治安田TOPIXオープン

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

明治安田TOPIXオープン

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

明治安田TOPIXオープン

期別	純資産総額（円）		1万口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第11期計算期間末 (2014年 3月10日)	208,749,831	212,112,662	14,898	15,138
第12期計算期間末 (2015年 3月10日)	238,765,061	241,604,745	18,498	18,718
第13期計算期間末 (2016年 3月10日)	206,446,674	208,962,641	16,411	16,611
第14期計算期間末 (2017年 3月10日)	236,933,638	241,166,199	19,033	19,373
第15期計算期間末 (2018年 3月12日)	253,711,123	258,310,940	20,960	21,340
第16期計算期間末 (2019年 3月11日)	223,034,302	226,667,000	19,033	19,343
第17期計算期間末 (2020年 3月10日)	166,319,983	169,852,479	16,950	17,310
第18期計算期間末 (2021年 3月10日)	148,906,176	152,140,108	23,022	23,522
第19期計算期間末 (2022年 3月10日)	143,186,031	145,269,464	21,992	22,312
第20期計算期間末 (2023年 3月10日)	157,139,873	160,624,222	24,353	24,893
2022年 3月末日	144,072,088		23,631	
4月末日	140,893,583		23,050	
5月末日	141,458,577		23,205	
6月末日	140,125,720		22,717	
7月末日	144,909,865		23,553	
8月末日	147,053,786		23,825	
9月末日	142,190,200		22,506	
10月末日	146,786,482		23,630	
11月末日	151,495,277		24,324	
12月末日	146,344,058		23,201	
2023年 1月末日	150,929,320		24,207	
2月末日	152,559,462		24,427	
3月末日	155,572,485		24,291	

【分配の推移】

明治安田TOPIXオープン

期	計算期間	1万口当たりの分配金（円）
第11期計算期間	2013年 3月12日～2014年 3月10日	240
第12期計算期間	2014年 3月11日～2015年 3月10日	220
第13期計算期間	2015年 3月11日～2016年 3月10日	200
第14期計算期間	2016年 3月11日～2017年 3月10日	340
第15期計算期間	2017年 3月11日～2018年 3月12日	380
第16期計算期間	2018年 3月13日～2019年 3月11日	310
第17期計算期間	2019年 3月12日～2020年 3月10日	360
第18期計算期間	2020年 3月11日～2021年 3月10日	500

第19期計算期間	2021年 3月11日～2022年 3月10日	320
第20期計算期間	2022年 3月11日～2023年 3月10日	540

【収益率の推移】

明治安田TOPIXオープン

期	計算期間	収益率（％）
第11期計算期間	2013年 3月12日～2014年 3月10日	19.23
第12期計算期間	2014年 3月11日～2015年 3月10日	25.64
第13期計算期間	2015年 3月11日～2016年 3月10日	10.20
第14期計算期間	2016年 3月11日～2017年 3月10日	18.05
第15期計算期間	2017年 3月11日～2018年 3月12日	12.12
第16期計算期間	2018年 3月13日～2019年 3月11日	7.71
第17期計算期間	2019年 3月12日～2020年 3月10日	9.05
第18期計算期間	2020年 3月11日～2021年 3月10日	38.77
第19期計算期間	2021年 3月11日～2022年 3月10日	3.08
第20期計算期間	2022年 3月11日～2023年 3月10日	13.19

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

(4) 【設定及び解約の実績】

明治安田TOPIXオープン

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）
第11期計算期間	2013年 3月12日～2014年 3月10日	30,470,923	26,007,143
第12期計算期間	2014年 3月11日～2015年 3月10日	25,507,197	36,548,581
第13期計算期間	2015年 3月11日～2016年 3月10日	25,564,371	28,842,558
第14期計算期間	2016年 3月11日～2017年 3月10日	23,249,060	24,560,356
第15期計算期間	2017年 3月11日～2018年 3月12日	27,627,935	31,067,218
第16期計算期間	2018年 3月13日～2019年 3月11日	18,923,273	22,787,267
第17期計算期間	2019年 3月12日～2020年 3月10日	15,380,817	34,439,728
第18期計算期間	2020年 3月11日～2021年 3月10日	8,602,970	42,049,237
第19期計算期間	2021年 3月11日～2022年 3月10日	11,935,400	11,506,752
第20期計算期間	2022年 3月11日～2023年 3月10日	10,281,093	10,863,401

(参考)

(1) 投資状況

明治安田TOPIXマザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	日本	14,790,640,240	95.16
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		752,260,265	4.84
合計(純資産総額)		15,542,900,505	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引	買建	日本	741,295,000	4.76

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

明治安田TOPIXマザーファンド

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国/地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	280,900	1,896.00	532,586,400	1,880.00	528,092,000	3.40
2	日本	株式	ソニーグループ	電気機器	36,200	11,700.00	423,540,000	11,985.00	433,857,000	2.79
3	日本	株式	キーエンス	電気機器	5,100	60,170.00	306,867,000	64,450.00	328,695,000	2.11
4	日本	株式	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	315,600	932.70	294,360,120	847.90	267,597,240	1.72
5	日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	65,800	3,986.00	262,278,800	3,962.00	260,699,600	1.68
6	日本	株式	第一三共	医薬品	44,900	4,418.00	198,368,200	4,822.00	216,507,800	1.39
7	日本	株式	武田薬品工業	医薬品	45,100	4,348.00	196,094,800	4,350.00	196,185,000	1.26
8	日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	36,600	5,915.00	216,489,000	5,298.00	193,906,800	1.25
9	日本	株式	日立製作所	電気機器	25,100	7,050.00	176,955,000	7,252.00	182,025,200	1.17
10	日本	株式	信越化学工業	化学	42,500	4,100.00	174,250,000	4,275.00	181,687,500	1.17
11	日本	株式	東京エレクトロン	電気機器	10,800	16,010.00	172,908,000	16,040.00	173,232,000	1.11
12	日本	株式	任天堂	その他製品	32,300	5,148.00	166,280,400	5,131.00	165,731,300	1.07
13	日本	株式	三井物産	卸売業	39,900	4,179.00	166,742,100	4,116.00	164,228,400	1.06
14	日本	株式	KDDI	情報・通信業	39,800	4,113.00	163,697,400	4,093.00	162,901,400	1.05
15	日本	株式	HOYA	精密機器	11,100	14,245.00	158,119,500	14,560.00	161,616,000	1.04
16	日本	株式	三菱商事	卸売業	34,000	4,991.00	169,694,000	4,751.00	161,534,000	1.04
17	日本	株式	ソフトバンクグループ	情報・通信業	29,700	5,343.00	158,687,100	5,182.00	153,905,400	0.99
18	日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	41,200	3,613.00	148,855,600	3,510.00	144,612,000	0.93
19	日本	株式	ダイキン工業	機械	6,100	23,610.00	144,021,000	23,655.00	144,295,500	0.93
20	日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	33,500	4,283.00	143,480,500	4,301.00	144,083,500	0.93
21	日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	39,200	3,535.00	138,572,000	3,650.00	143,080,000	0.92
22	日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	72,400	2,115.00	153,126,000	1,878.00	135,967,200	0.87
23	日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	50,700	2,881.00	146,066,700	2,547.00	129,132,900	0.83
24	日本	株式	ソフトバンク	情報・通信業	83,000	1,547.00	128,401,000	1,529.00	126,907,000	0.82
25	日本	株式	オリエンタルランド	サービス業	28,000	4,424.00	123,872,000	4,528.00	126,784,000	0.82
26	日本	株式	村田製作所	電気機器	15,500	7,678.00	119,009,000	8,040.00	124,620,000	0.80
27	日本	株式	ファナック	電気機器	25,000	4,826.00	120,650,000	4,760.00	119,000,000	0.77
28	日本	株式	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	18,700	6,200.00	115,940,000	5,975.00	111,732,500	0.72
29	日本	株式	S M C	機械	1,600	71,110.00	113,776,000	69,830.00	111,728,000	0.72

30	日本	株式	富士通	電気機器	5,200	18,370.00	95,524,000	17,835.00	92,742,000	0.60
----	----	----	-----	------	-------	-----------	------------	-----------	------------	------

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内 / 外国	業種	投資比率 (%)
株式	国内	水産・農林業	0.09
		鉱業	0.29
		建設業	1.83
		食料品	3.34
		繊維製品	0.49
		パルプ・紙	0.18
		化学	6.01
		医薬品	5.30
		石油・石炭製品	0.45
		ゴム製品	0.75
		ガラス・土石製品	0.74
		鉄鋼	0.88
		非鉄金属	0.68
		金属製品	0.54
		機械	5.16
		電気機器	17.23
		輸送用機器	7.07
		精密機器	2.49
		その他製品	2.16
		電気・ガス業	1.15
		陸運業	2.83
		海運業	0.59
		空運業	0.46
		倉庫・運輸関連業	0.14
		情報・通信業	8.18
		卸売業	5.74
		小売業	4.42
銀行業	5.63		
証券、商品先物取引業	0.71		
保険業	2.03		
その他金融業	1.04		
不動産業	1.74		
サービス業	4.81		
合計			95.16

投資不動産物件

明治安田TOPIXマザーファンド

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

明治安田TOPIXマザーファンド

資産の種類	取引所	資産の名称	買建 / 売建	数量	通貨	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資比率 (%)
株価指数 先物取引	大阪取引所	TOPIX先物	買建	37	日本円	739,331,440	741,295,000	4.76

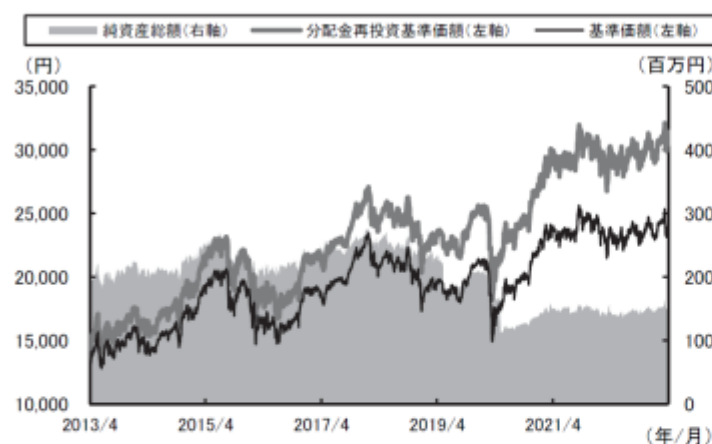
(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

参考情報

以下の事項は交付目論見書の運用実績に記載されているものです。

2023年3月31日現在

基準価額・純資産の推移



分配の推移

分配金の推移	
2023年3月	540円
2022年3月	320円
2021年3月	500円
2020年3月	360円
2019年3月	310円
設定来累計	4,630円
※分配金は、10,000口あたりの税引前の金額	
基準価額	24,291円
純資産総額	155百万円

※分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、分配金実績があった場合に税引前分配金を再投資したものととして算出しています。

主要な資産の状況

資産の組入比率

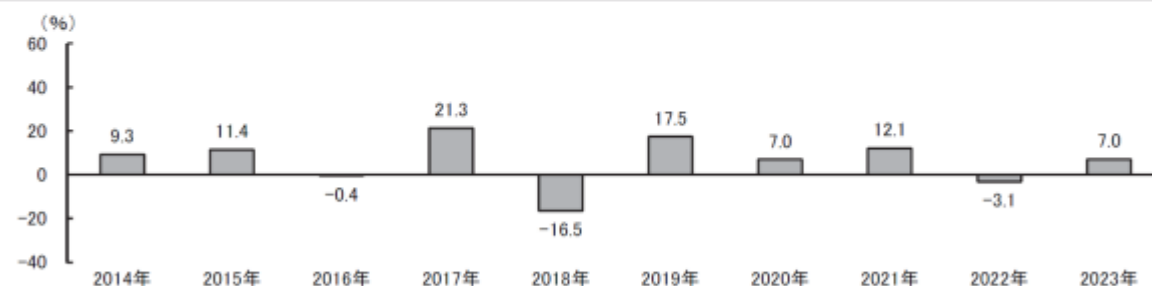
資産の種別	投資比率(%)
明治安田TOPIXマザーファンド	99.90
その他の資産(負債控除後)	0.10
合計(純資産総額)	100.00

組入上位10銘柄(マザーファンド)

※投資比率はマザーファンドの対純資産総額比

銘柄名	業種	投資比率(%)
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.40
2 ソニーグループ	電気機器	2.79
3 キーエンス	電気機器	2.11
4 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.72
5 日本電信電話	情報・通信業	1.68
6 第一三共	医薬品	1.39
7 武田薬品工業	医薬品	1.26
8 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.25
9 日立製作所	電気機器	1.17
10 信越化学工業	化学	1.17

年間収益率の推移(暦年ベース)



※収益率は分配金(税引前)を再投資したものととして算出しています。

※2023年は3月末までの収益率を表示しています。

※最新の運用状況は委託会社のホームページでご確認することができます。

※ファンドの運用実績はあくまで過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

- (1) 取得のお申込みの際には、販売会社に取引口座を開設していただきます。
- (2) 取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたは予め当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。
- (3) 取得価額は取得申込受付日の基準価額とします。取得申込者は、申込金額（取得申込受付日の基準価額に申込口数を乗じた額）、申込手数料および申込手数料にかかる消費税等に相当する額の合計額（申込代金）を、販売会社が指定した期日までに販売会社においてお支払いいただきます。基準価額につきましては、取扱販売会社または下記委託会社にてご確認いただけます。また、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

明治安田アセットマネジメント株式会社

電話番号：0120-565787（受付時間は、営業日の午前9時～午後5時）

ホームページアドレス：<https://www.myam.co.jp/>

- (4) 申込手数料は、申込金額（取得申込受付日の基準価額×申込口数）に、2.2%（税抜2.0%）を上限として各販売会社が別途定める料率を乗じて得た金額とします。
なお、確定拠出年金制度に基づくお申込みの場合は、手数料はかかりません。
「税抜」における税とは、消費税等相当額をいいます。
申込手数料につきましては、お申込みの販売会社にお問合せください。
分配金再投資コースでお申込みの受益者が販売会社との間で結んだ自動継続投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。
- (5) 申込単位は、販売会社が定める申込単位とします。
自動継続投資契約に基づく収益分配金の再投資については、1口単位とします。
- (6) ファンドのお申込みには、収益の分配が行われるごとに分配金を受益者に支払う「分配金受取りコース」と、分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料でファンドに再投資する「分配金再投資コース」があります。分配金の受取方法を途中で変更することはできません。
「分配金再投資コース」を選択する場合には、取得申込者は、販売会社との間で自動継続投資契約を締結する必要があります。
販売会社により「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」のどちらか一方のコースのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社までお問合わせください。
- (7) 申込期間中における取得申込みの受付時間は、原則として午後3時までに取得の申込みが行われ、かつ、当該取得申込みにかかる販売会社所定の事務手続が完了したものを当日の申込分とします。当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
- (8) 委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた取得申込みの受付を取消することがあります。

確定拠出年金制度を利用して購入される場合は、当該運営管理機関の取決めにしたがってください。

前記において「申込」を「取得申込」または「購入申込」ということがあります。

2【換金（解約）手続等】

信託の一部解約（解約請求制）

- (1) 受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。
- (2) 一部解約の価額（解約価額）は、解約請求受付日の基準価額とします。解約代金は請求を受付けた日から起算して、原則として4営業日目から受益者に支払います。
基準価額につきましては、取扱販売会社または下記委託会社にてご確認いただけます。また、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

明治安田アセットマネジメント株式会社

電話番号：0120-565787（受付時間は、営業日の午前9時～午後5時）

ホームページアドレス：<https://www.myam.co.jp/>

- (3) 換金の請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかるこの信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。
- (4) 換金手数料ならびに信託財産留保額はありません。
- (5) 換金単位は、販売会社が定める単位とします。
自動継続投資契約にかかる受益権については1口の整数倍をもって一部解約の実行を請求することができます。
- (6) 一部解約の実行請求の受付時間は、原則として午後3時までに換金の請求が行われ、かつ、当該請求の受付にかかる販売会社所定の事務手続が完了したものを当日の申込分とします。当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
- (7) 委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受付を中止することおよびすでに受付けた一部解約の実行の請求の受付を取消すことがあります。
- (8) 上記により、一部解約の実行の請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受付けたものとして、上記の規定に準じて計算された価額とします。
- (9) 信託財産の資金管理を円滑に行うために大口の解約請求には制限を設ける場合があります。

確定拠出年金制度を利用して購入された加入者の解約の受付は、当該運営管理機関の取決めにしたがってください。

前記において「解約」を「換金」ということがあります。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

基準価額とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。便宜上1万口あたりに換算した価額で表示されます。

なお、ファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

主な資産の種類	評価方法
親投資信託受益証券	基準価額計算日の基準価額で評価します。
株 式	原則として、基準価額計算日 の金融商品取引所の終値で評価します。 外国で取引されているものについては、原則として、基準価額計算日の前日とします。

基準価額につきましては、取扱販売会社または下記委託会社にてご確認いただけます。また、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

明治安田アセットマネジメント株式会社

電話番号：0120-565787（受付時間は、営業日の午前9時～午後5時）

ホームページアドレス：<https://www.myam.co.jp/>

(2)【保管】

該当事項はありません。

(3)【信託期間】

この信託の期間は無期限です。

(4)【計算期間】

ファンドの計算期間は、毎年3月11日から翌年3月10日までとすることを原則とします。

各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日以降の営業日で該当日に最も近い日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

(5)【その他】

信託の終了および繰上償還条項

1. 委託会社は、信託期間中において、信託契約の一部を解約することにより受益権の口数が20億口を下回るようになった場合、またはこの信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、あるいはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
2. 委託会社は、上記の事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面をこの信託契約にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、この信託契約にかかるすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
3. 上記の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は1ヵ月を下らないものとします。

4. 上記の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、委託会社はこの信託契約の解約を行わないものとします。
5. 委託会社は、この信託契約の解約を行わないときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
6. 上記3.から5.までの規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、一定の期間が1ヵ月を下らずに上記3.の公告および書面の交付を行うことが困難な場合には適用しないものとします。

信託契約に関する監督官庁の命令

委託会社は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。

委託会社の登録取消等に伴う取扱い

委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、この信託契約を解約し信託を終了させます。ただし、監督官庁が、この信託契約に関する委託会社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じたときは、「信託約款の変更4.」に該当する場合は除き、この信託は、その委託会社と受託会社との間において存続します。

受託会社の辞任および解任に伴う取扱い

受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社はその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。受託会社が辞任した場合、または裁判所が受託会社を解任した場合、委託会社は、「信託約款の変更」の規定にしたがい、新受託会社を選任します。ただし、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

償還金について

償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日から(原則として償還日(償還日が休業日の場合は当該償還日の翌営業日)から起算して5営業日までに)、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として)に支払います。償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行うものとします。

委託会社の事業譲渡および承継に伴う取扱い

1. 委託会社は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することがあります。
2. 委託会社は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることがあります。

信託約款の変更

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託約款を変更することができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。
2. 委託会社は、その変更事項のうちその内容が重要なものについて、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面をこの信託約款にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、この信託約款にかかるすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

3. 上記の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は1ヵ月を下らないものとします。
4. 上記の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、この信託約款の変更をしません。
5. 委託会社は、当該信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
6. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、上記の規定にしたがいます。

反対者の買取請求権

信託契約の解約またはその内容が重大な信託約款の変更を行う場合において、一定の期間内に委託会社に対して異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取すべき旨を請求することができます。ただし、当該請求の取扱いは、委託会社と受託会社の協議により定めた手続きにより行うものとします。

運用報告書

委託会社は、計算期間終了時および償還時に作成のうえ、交付運用報告書は、販売会社を通じて、信託財産にかかる知れている受益者に交付します。

委託会社は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により受益者に提供することができます。この場合において、委託会社は、運用報告書を交付したものとみなします。

ただし、委託会社は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付するものとします。

その他のディスクロージャー資料について

委託会社は、通常、月次の運用レポートを作成しており、販売会社にて入手可能です。また、委託会社のホームページにおいても入手可能です。

公告

1. 委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。
<https://www.myam.co.jp/>
2. 前項の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

関係法人との契約の更改等に関する手続き

委託会社と販売会社との間で締結された「投資信託受益権の取扱いに関する契約」は、契約期間満了日の3ヵ月前までに委託会社および販売会社いずれかから別段の意思表示がない限り、1年毎に自動更新されます。また、本契約が終了した場合は、受益者に対する支払事務等において受益者に不測の損害を与えぬよう協議します。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

(1) 収益分配金に対する請求権

受益者は委託会社の決定した収益分配金を持分に応じて請求する権利を有します。

決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）の収益分配金は、原則として税控除後、毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として決算日から起算して5営業日までに）から、販売会社を通じて、受益者に支払いを開始します。

受益者が、収益分配金についてその支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、その金銭は、委託会社に帰属します。

分配金再投資コースにお申込みされている受益者の収益分配金については、販売会社を通じて、自動継続投資契約に基づき、原則として税控除後、決算日の基準価額で翌営業日に再投資され、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

(2) 償還金に対する請求権

受益者はファンドにかかる償還金を持分に応じて請求する権利を有します。

償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）の償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日（償還日が休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日までに）から、販売会社を通じて、受益者に支払いを開始します。

受益者が、信託終了による償還金についてその支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、その金銭は、委託会社に帰属します。

(3) 換金(解約)請求権

受益者は、販売会社を通じて委託会社に換金（解約）請求する権利を有します。

(4) 帳簿閲覧請求権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内に、当該受益者に係る信託財産に関する帳簿書類の閲覧または謄写を請求することができます。

(5) 反対者の買取請求権

信託契約の解約またはその内容が重大な信託約款の変更を行う場合において、一定の期間内に委託会社に対して異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。ただし、当該請求の取扱いは、委託会社と受託会社の協議により定められた手続きにより行うものとします。

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
- なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第20期計算期間（2022年3月11日から2023年3月10日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【明治安田TOPIXオープン】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第19期 2022年 3月10日現在	第20期 2023年 3月10日現在
資産の部		
流動資産		
金銭信託	2,743,523	4,207,696
親投資信託受益証券	142,908,318	156,907,274
未収入金	130,000	-
流動資産合計	145,781,841	161,114,970
資産合計		
	145,781,841	161,114,970
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	2,083,433	3,484,349
未払解約金	24,046	1,504
未払受託者報酬	72,651	72,784
未払委託者報酬	411,625	412,411
その他未払費用	4,055	4,049
流動負債合計	2,595,810	3,975,097
負債合計		
	2,595,810	3,975,097
純資産の部		
元本等		
元本	65,107,296	64,524,988
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	78,078,735	92,614,885
（分配準備積立金）	31,677,816	34,617,558
元本等合計	143,186,031	157,139,873
純資産合計		
	143,186,031	157,139,873
負債純資産合計		
	145,781,841	161,114,970

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第19期		第20期	
	自	至	自	至
	2021年	2022年	2022年	2023年
	3月11日	3月10日	3月11日	3月10日
営業収益				
有価証券売買等損益		2,738,838		19,898,956
営業収益合計		2,738,838		19,898,956
営業費用				
受託者報酬		146,601		144,027
委託者報酬		830,634		816,047
その他費用		8,478		8,288
営業費用合計		985,713		968,362
営業利益又は営業損失()		3,724,551		18,930,594
経常利益又は経常損失()		3,724,551		18,930,594
当期純利益又は当期純損失()		3,724,551		18,930,594
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()		977,810		1,722,246
期首剰余金又は期首欠損金()		84,227,528		78,078,735
剰余金増加額又は欠損金減少額		15,652,454		13,881,224
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-		-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		15,652,454		13,881,224
剰余金減少額又は欠損金増加額		15,015,453		13,069,073
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		15,015,453		13,069,073
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		-		-
分配金		2,083,433		3,484,349
期末剰余金又は期末欠損金()		78,078,735		92,614,885

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
3.その他	当ファンドの計算期間は2022年 3月11日から2023年 3月10日までとなっております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

第19期 2022年 3月10日現在		第20期 2023年 3月10日現在	
1. 計算期間の末日における受益権の総数	65,107,296口	1. 計算期間の末日における受益権の総数	64,524,988口
2. 1口当たり純資産額 (10,000口当たり純資産額)	2.1992円 (21,992円)	2. 1口当たり純資産額 (10,000口当たり純資産額)	2.4353円 (24,353円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第19期 自 2021年 3月11日 至 2022年 3月10日		第20期 自 2022年 3月11日 至 2023年 3月10日	
分配金の計算過程		分配金の計算過程	
A 費用控除後の配当等収益額	2,132,699円	A 費用控除後の配当等収益額	3,509,263円
B 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	-円	B 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	7,950,574円
C 収益調整金額	88,460,693円	C 収益調整金額	92,489,427円
D 分配準備積立金額	31,628,550円	D 分配準備積立金額	26,642,070円
E 当ファンドの分配対象収益額	122,221,942円	E 当ファンドの分配対象収益額	130,591,334円
F 当ファンドの期末残存口数	65,107,296口	F 当ファンドの期末残存口数	64,524,988口
G 10,000口当たり収益分配対象額	18,772円	G 10,000口当たり収益分配対象額	20,238円
H 10,000口当たり分配金額	320円	H 10,000口当たり分配金額	540円
I 収益分配金金額	2,083,433円	I 収益分配金金額	3,484,349円

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

	第19期 自 2021年 3月11日 至 2022年 3月10日	第20期 自 2022年 3月11日 至 2023年 3月10日

1．金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2．金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券等は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「運用資産の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は「（有価証券に関する注記）」の「売買目的有価証券」に記載しております。これらは価格変動リスクなどの市場リスク、信用リスク、及び流動性リスクに晒されております。	同左
3．金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては運用部門から独立したリスク管理に関する委員会を設け投資リスクの管理を行っております。信託約款の遵守状況、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスク等モニターしており、ガイドラインに沿った運用を行っているかにつき定期的なフォロー及びチェックを実施しております。 市場リスクについてはファンド運用状況の継続モニタリングを実施し、各種委員会においてパフォーマンス動向や業種配分等のポートフォリオ特性分析などファンドの運用状況を報告します。 信用リスクについては格付けその他発行体等に関する情報を収集、分析のうえファンドの商品特性に照らして組入れ銘柄の信用リスク管理をしております。 また、流動性リスクについては市場流動性の状況を把握し流動性リスクを管理しております。	同左
4．金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

2．金融商品の時価等に関する事項

	第19期 2022年 3月10日現在	第20期 2023年 3月10日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2．時価の算定方法	有価証券 売買目的有価証券	有価証券 売買目的有価証券

	「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。	同左
	コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務	コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務
	これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	第19期 自 2021年 3月11日 至 2022年 3月10日	第20期 自 2022年 3月11日 至 2023年 3月10日
	当計算期間の損益に含まれた評価差額	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	3,714,972	17,809,290
合計	3,714,972	17,809,290

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

第19期 自 2021年 3月11日 至 2022年 3月10日	第20期 自 2022年 3月11日 至 2023年 3月10日
該当事項はありません。	同左

（その他の注記）

元本の移動

（単位：円）

	第19期 自 2021年 3月11日 至 2022年 3月10日	第20期 自 2022年 3月11日 至 2023年 3月10日
期首元本額	64,678,648円	65,107,296円
期中追加設定元本額	11,935,400円	10,281,093円
期中一部解約元本額	11,506,752円	10,863,401円

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受益証券	明治安田TOPIXマザーファンド	43,761,616	156,907,274	
	合計	43,761,616	156,907,274	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドは「明治安田TOPIXマザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。

同親投資信託の状況は次の通りです。

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田TOPIXマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

2023年 3月10日現在	
資産の部	
流動資産	
金銭信託	491,205,628
株式	15,616,731,720
未収配当金	32,271,916
差入委託証拠金	13,625,000
流動資産合計	16,153,834,264
資産合計	16,153,834,264
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	4,147,000
未払解約金	24,300,000
その他未払費用	85,952
流動負債合計	28,532,952
負債合計	28,532,952
純資産の部	
元本等	
元本	4,497,328,855
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	11,627,972,457
元本等合計	16,125,301,312
純資産合計	16,125,301,312
負債純資産合計	16,153,834,264

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場に基づいて評価しております。</p>
2. 費用・収益の計上基準	<p>(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p> <p>(2) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p> <p>(3) 派生商品取引等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p>

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（その他の注記）

2023年 3月10日現在	
1. 元本の移動	
期首	2022年 3月11日
期首元本額	5,605,476,604円
期末元本額	4,497,328,855円
期中追加設定元本額	328,946,913円
期中一部解約元本額	1,437,094,662円
元本の内訳	
明治安田DC・TOPIXインデックスファンド	291,526,478円
明治安田TOPIXオープン	43,761,616円
明治安田DC・TOPIXオープン	2,023,603,796円
明治安田日本株式パッシブPファンド（適格機関投資家私募）	2,138,436,965円
2. 1口当たり純資産額	3.5855円
(10,000口当たり純資産額)	(35,855円)

（注）*は当該親信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

(単位：円)

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価	金額	
極洋	700	3,625.00	2,537,500	
ニッスイ	8,000	555.00	4,440,000	
マルハニチロ	1,200	2,456.00	2,947,200	
サカタのタネ	1,100	4,140.00	4,554,000	
ホクト	500	1,891.00	945,500	
日鉄鉱業	300	3,765.00	1,129,500	
三井松島ホールディングス	500	3,755.00	1,877,500	
I N P E X	28,300	1,471.00	41,629,300	
石油資源開発	1,000	5,010.00	5,010,000	
ショーボンドホールディングス	1,000	5,530.00	5,530,000	
ミライト・ワン	2,500	1,689.00	4,222,500	
安藤・間	4,600	897.00	4,126,200	
東急建設	2,800	715.00	2,002,000	
コムシスホールディングス	2,400	2,540.00	6,096,000	
高松コンストラクショングループ	600	2,072.00	1,243,200	
東建コーポレーション	300	8,030.00	2,409,000	
大成建設	5,100	4,665.00	23,791,500	
大林組	17,700	1,057.00	18,708,900	
清水建設	15,300	778.00	11,903,400	
飛鳥建設	1,400	1,131.00	1,583,400	
長谷工コーポレーション	5,400	1,620.00	8,748,000	
鹿島建設	11,300	1,659.00	18,746,700	
不動テトラ	1,100	1,677.00	1,844,700	
大末建設	900	1,216.00	1,094,400	
鉄建建設	700	1,893.00	1,325,100	
西松建設	1,000	3,645.00	3,645,000	
三井住友建設	4,300	439.00	1,887,700	
大豊建設	300	4,035.00	1,210,500	
奥村組	700	3,370.00	2,359,000	
東鉄工業	900	2,799.00	2,519,100	
戸田建設	6,700	737.00	4,937,900	

熊谷組	1,000	2,917.00	2,917,000	
北野建設	800	3,175.00	2,540,000	
矢作建設工業	2,000	856.00	1,712,000	
東亜道路工業	300	7,550.00	2,265,000	
日本道路	200	7,640.00	1,528,000	
東亜建設工業	600	2,797.00	1,678,200	
若築建設	700	3,560.00	2,492,000	
東洋建設	2,300	900.00	2,070,000	
五洋建設	7,700	662.00	5,097,400	
世紀東急工業	1,700	852.00	1,448,400	
福田組	300	4,560.00	1,368,000	
住友林業	4,100	2,690.00	11,029,000	
巴コーポレーション	3,600	443.00	1,594,800	
大和ハウス工業	14,400	3,215.00	46,296,000	
ライト工業	1,100	2,001.00	2,201,100	
積水ハウス	16,300	2,771.00	45,167,300	
関電工	1,200	932.00	1,118,400	
きんでん	2,800	1,645.00	4,606,000	
住友電設	500	2,600.00	1,300,000	
日本電設工業	700	1,613.00	1,129,100	
エクシオグループ	2,300	2,471.00	5,683,300	
九電工	1,200	3,555.00	4,266,000	
三機工業	800	1,551.00	1,240,800	
日揮ホールディングス	5,200	1,734.00	9,016,800	
中外炉工業	700	1,880.00	1,316,000	
太平電業	400	4,190.00	1,676,000	
高砂熱学工業	1,300	2,156.00	2,802,800	
明星工業	1,400	805.00	1,127,000	
大気社	700	3,680.00	2,576,000	
日比谷総合設備	700	2,151.00	1,505,700	
インフロニア・ホールディングス	5,600	1,093.00	6,120,800	
レイズネクスト	700	1,499.00	1,049,300	
ニッポン	1,000	1,670.00	1,670,000	
日清製粉グループ本社	5,000	1,584.00	7,920,000	
昭和産業	300	2,567.00	770,100	
東洋精糖	1,800	917.00	1,650,600	
日本甜菜製糖	800	1,732.00	1,385,600	
D M三井製糖ホールディングス	300	2,125.00	637,500	
森永製菓	1,100	3,955.00	4,350,500	

中村屋	700	3,150.00	2,205,000
江崎グリコ	1,400	3,435.00	4,809,000
不二家	600	2,460.00	1,476,000
山崎製パン	3,700	1,611.00	5,960,700
亀田製菓	400	4,335.00	1,734,000
寿スピリッツ	600	9,060.00	5,436,000
カルビー	2,600	2,672.00	6,947,200
森永乳業	1,000	4,815.00	4,815,000
ヤクルト本社	3,800	9,550.00	36,290,000
明治ホールディングス	3,200	6,380.00	20,416,000
雪印メグミルク	1,100	1,837.00	2,020,700
プリマハム	900	2,232.00	2,008,800
日本ハム	2,000	3,840.00	7,680,000
丸大食品	200	1,529.00	305,800
S Foods	700	2,851.00	1,995,700
伊藤ハム米久ホールディングス	2,400	733.00	1,759,200
サッポロホールディングス	1,900	3,325.00	6,317,500
アサヒグループホールディングス	12,100	4,866.00	58,878,600
キリンホールディングス	23,600	2,081.50	49,123,400
宝ホールディングス	3,600	1,074.00	3,866,400
コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス	3,500	1,428.00	4,998,000
サントリー食品インターナショナル	3,700	4,930.00	18,241,000
ダイドーグループホールディングス	400	4,805.00	1,922,000
伊藤園	2,000	4,360.00	8,720,000
キーコーヒー	800	2,079.00	1,663,200
ジャパンフーズ	1,800	1,102.00	1,983,600
日清オイリオグループ	800	3,435.00	2,748,000
不二製油グループ本社	1,400	1,956.00	2,738,400
J - オイルミルズ	400	1,582.00	632,800
キッコーマン	3,600	6,480.00	23,328,000
味の素	13,000	4,521.00	58,773,000
キューピー	2,800	2,216.00	6,204,800
ハウス食品グループ本社	1,500	2,739.00	4,108,500
カゴメ	2,500	3,055.00	7,637,500
アリアケジャパン	500	4,930.00	2,465,000
ニチレイ	2,400	2,719.00	6,525,600
東洋水産	2,700	5,710.00	15,417,000
日清食品ホールディングス	1,900	11,670.00	22,173,000

フジッコ	700	1,886.00	1,320,200
ロック・フィールド	1,200	1,574.00	1,888,800
日本たばこ産業	34,100	2,778.50	94,746,850
わらべや日洋ホールディングス	700	1,852.00	1,296,400
ユーグレナ	4,200	949.00	3,985,800
ミヨシ油脂	1,700	975.00	1,657,500
ゲンゼ	300	4,685.00	1,405,500
東洋紡	1,900	1,073.00	2,038,700
富士紡ホールディングス	300	3,210.00	963,000
倉敷紡績	400	2,638.00	1,055,200
シキボウ	1,400	1,085.00	1,519,000
日本毛織	1,400	997.00	1,395,800
ダイドーリミテッド	12,500	278.00	3,475,000
帝国繊維	800	1,698.00	1,358,400
帝人	4,600	1,481.00	6,812,600
東レ	35,400	782.50	27,700,500
住江織物	500	2,008.00	1,004,000
アツギ	1,700	401.00	681,700
セーレン	1,200	2,427.00	2,912,400
小松マテーレ	1,200	722.00	866,400
ワコールホールディングス	600	2,580.00	1,548,000
ホギメディカル	800	3,270.00	2,616,000
T S Iホールディングス	2,700	660.00	1,782,000
ワールド	1,000	1,506.00	1,506,000
オンワードホールディングス	3,500	368.00	1,288,000
ルックホールディングス	500	2,241.00	1,120,500
ゴールドウイン	1,000	11,970.00	11,970,000
デサント	1,000	4,115.00	4,115,000
特種東海製紙	300	3,060.00	918,000
王子ホールディングス	20,600	557.00	11,474,200
日本製紙	2,600	1,093.00	2,841,800
三菱製紙	3,700	356.00	1,317,200
北越コーポレーション	3,700	897.00	3,318,900
中越パルプ工業	900	1,053.00	947,700
大王製紙	2,600	1,069.00	2,779,400
レンゴー	4,600	877.00	4,034,200
トーモク	600	1,637.00	982,200
ザ・バック	600	3,000.00	1,800,000
クラレ	7,100	1,270.00	9,017,000

旭化成	32,100	973.20	31,239,720
レゾナック・ホールディングス	5,100	2,246.00	11,454,600
住友化学	39,100	477.00	18,650,700
住友精化	300	4,585.00	1,375,500
日産化学	2,500	6,010.00	15,025,000
ラサ工業	800	2,126.00	1,700,800
クレハ	400	8,600.00	3,440,000
石原産業	1,400	1,183.00	1,656,200
日本曹達	600	4,850.00	2,910,000
東ソー	6,900	1,827.00	12,606,300
トクヤマ	1,500	2,201.00	3,301,500
セントラル硝子	1,000	3,225.00	3,225,000
東亜合成	2,000	1,292.00	2,584,000
大阪ソーダ	400	4,480.00	1,792,000
関東電化工業	1,600	1,045.00	1,672,000
デンカ	1,900	2,865.00	5,443,500
信越化学工業	8,900	20,500.00	182,450,000
日本カーバイド工業	1,300	1,343.00	1,745,900
堺化学工業	500	1,831.00	915,500
エア・ウォーター	4,700	1,736.00	8,159,200
日本酸素ホールディングス	5,200	2,476.00	12,875,200
日本化学工業	600	2,038.00	1,222,800
日本パーカライズン	1,700	1,034.00	1,757,800
四国化成ホールディングス	1,200	1,340.00	1,608,000
ステラ ケミファ	700	2,751.00	1,925,700
保土谷化学工業	300	3,125.00	937,500
日本触媒	700	5,880.00	4,116,000
大日精化工業	300	1,845.00	553,500
カネカ	1,000	3,555.00	3,555,000
三菱瓦斯化学	3,700	2,014.00	7,451,800
三井化学	4,300	3,375.00	14,512,500
J S R	5,100	3,205.00	16,345,500
東京応化工業	1,000	7,650.00	7,650,000
三菱ケミカルグループ	34,800	804.50	27,996,600
K Hネオケム	1,000	2,520.00	2,520,000
ダイセル	7,600	1,064.00	8,086,400
住友ベークライト	800	4,985.00	3,988,000
積水化学工業	10,700	1,942.00	20,779,400
日本ゼオン	3,200	1,349.00	4,316,800

アイカ工業	1,300	3,120.00	4,056,000
U B E	2,100	2,094.00	4,397,400
積水樹脂	900	2,122.00	1,909,800
タキロンシーアイ	1,400	506.00	708,400
旭有機材	700	2,969.00	2,078,300
リケンテクノス	2,800	617.00	1,727,600
大倉工業	700	1,982.00	1,387,400
群栄化学工業	500	2,592.00	1,296,000
ダイキョーニシカワ	1,300	676.00	878,800
日本化薬	3,700	1,232.00	4,558,400
扶桑化学工業	600	3,835.00	2,301,000
トリケミカル研究所	1,000	2,489.00	2,489,000
A D E K A	1,700	2,302.00	3,913,400
日油	1,700	6,080.00	10,336,000
花王	13,000	5,031.00	65,403,000
第一工業製薬	500	1,985.00	992,500
三洋化成工業	200	4,485.00	897,000
大日本塗料	1,400	850.00	1,190,000
日本ペイントホールディングス	24,100	1,191.00	28,703,100
関西ペイント	5,100	1,718.00	8,761,800
中国塗料	1,400	1,085.00	1,519,000
藤倉化成	3,400	451.00	1,533,400
太陽ホールディングス	1,000	2,472.00	2,472,000
D I C	1,700	2,439.00	4,146,300
サカタインクス	1,200	1,032.00	1,238,400
東洋インキ S C ホールディングス	300	1,999.00	599,700
T & K T O K A	1,200	1,175.00	1,410,000
富士フイルムホールディングス	10,200	6,500.00	66,300,000
資生堂	11,100	6,171.00	68,498,100
ライオン	6,500	1,475.00	9,587,500
高砂香料工業	400	2,659.00	1,063,600
マンダム	1,300	1,487.00	1,933,100
ミルボン	900	5,580.00	5,022,000
ファンケル	2,500	2,470.00	6,175,000
コーセー	1,100	15,320.00	16,852,000
ポーラ・オルビスホールディングス	2,800	1,711.00	4,790,800
ノエビアホールディングス	400	5,380.00	2,152,000
コニシ	1,200	1,929.00	2,314,800
長谷川香料	1,100	2,996.00	3,295,600

星光PMC	3,000	554.00	1,662,000
小林製薬	1,700	8,140.00	13,838,000
メック	700	2,285.00	1,599,500
日本高純度化学	1,000	2,567.00	2,567,000
タカラバイオ	1,700	1,764.00	2,998,800
JCU	800	3,455.00	2,764,000
新田ゼラチン	2,400	808.00	1,939,200
デクセリアルズ	1,700	2,714.00	4,613,800
アース製薬	500	4,795.00	2,397,500
大成ラミック	700	2,940.00	2,058,000
クミアイ化学工業	2,500	876.00	2,190,000
日本農薬	1,800	698.00	1,256,400
アキレス	800	1,416.00	1,132,800
有沢製作所	1,500	1,383.00	2,074,500
日東電工	3,800	8,760.00	33,288,000
きもと	5,800	205.00	1,189,000
藤森工業	600	3,265.00	1,959,000
前澤化成工業	1,100	1,502.00	1,652,200
エフピコ	1,200	3,315.00	3,978,000
天馬	500	2,376.00	1,188,000
ニフコ	2,000	3,630.00	7,260,000
バルカー	800	3,455.00	2,764,000
ユニ・チャーム	11,200	5,076.00	56,851,200
協和キリン	6,400	2,891.00	18,502,400
武田薬品工業	47,100	4,348.00	204,790,800
アステラス製薬	51,300	1,905.00	97,726,500
住友ファーマ	4,300	828.00	3,560,400
塩野義製薬	6,900	6,126.00	42,269,400
日本新薬	1,300	5,690.00	7,397,000
中外製薬	16,800	3,344.00	56,179,200
科研製薬	800	3,795.00	3,036,000
エーザイ	6,600	7,368.00	48,628,800
ロート製薬	5,600	2,648.00	14,828,800
小野薬品工業	10,400	2,851.00	29,650,400
久光製薬	1,300	3,805.00	4,946,500
持田製薬	600	3,460.00	2,076,000
参天製薬	10,200	1,061.00	10,822,200
扶桑薬品工業	800	2,001.00	1,600,800
日本ケミファ	600	1,801.00	1,080,600

ツムラ	1,700	2,648.00	4,501,600
キッセイ薬品工業	900	2,684.00	2,415,600
生化学工業	1,200	822.00	986,400
栄研化学	1,000	1,625.00	1,625,000
鳥居薬品	300	3,290.00	987,000
JCRファーマ	1,900	1,527.00	2,901,300
東和薬品	1,000	1,927.00	1,927,000
ゼリア新薬工業	900	2,233.00	2,009,700
第一三共	46,800	4,418.00	206,762,400
キョーリン製薬ホールディングス	1,000	1,730.00	1,730,000
大幸薬品	2,000	391.00	782,000
ダイト	700	2,547.00	1,782,900
大塚ホールディングス	12,100	4,043.00	48,920,300
大正製薬ホールディングス	1,100	5,670.00	6,237,000
ペプチドリーム	2,900	1,840.00	5,336,000
あすか製薬ホールディングス	1,000	1,194.00	1,194,000
サワイグループホールディングス	1,100	3,765.00	4,141,500
日本コークス工業	10,200	89.00	907,800
ニチレキ	1,200	1,552.00	1,862,400
ビービー・カストロール	700	912.00	638,400
富士石油	4,100	266.00	1,090,600
出光興産	6,000	3,065.00	18,390,000
ENEOSホールディングス	94,600	475.90	45,020,140
コスモエネルギーホールディングス	2,200	4,055.00	8,921,000
横浜ゴム	3,000	2,679.00	8,037,000
TOYO TIRE	3,200	1,604.00	5,132,800
ブリヂストン	17,000	5,378.00	91,426,000
住友ゴム工業	5,100	1,243.00	6,339,300
藤倉コンポジット	1,300	1,026.00	1,333,800
オカモト	400	4,030.00	1,612,000
ニッタ	500	3,055.00	1,527,500
住友理工	900	701.00	630,900
三ツ星ベルト	1,000	4,030.00	4,030,000
バンドー化学	1,000	1,055.00	1,055,000
日東紡績	800	2,125.00	1,700,000
AGC	5,300	5,070.00	26,871,000
日本板硝子	3,700	708.00	2,619,600
日本山村硝子	1,100	749.00	823,900
日本電気硝子	1,800	2,610.00	4,698,000

住友大阪セメント	900	3,905.00	3,514,500
太平洋セメント	3,200	2,618.00	8,377,600
日本ヒューム	3,200	703.00	2,249,600
日本コンクリート工業	4,200	256.00	1,075,200
三谷セキサン	300	4,915.00	1,474,500
アジアパイルホールディングス	3,000	758.00	2,274,000
東海カーボン	4,500	1,314.00	5,913,000
日本カーボン	300	4,110.00	1,233,000
東洋炭素	500	4,080.00	2,040,000
ノリタケカンパニーリミテド	300	4,635.00	1,390,500
TOTO	3,500	4,505.00	15,767,500
日本碍子	5,900	1,843.00	10,873,700
日本特殊陶業	4,100	2,821.00	11,566,100
MARUWA	300	17,770.00	5,331,000
品川リフラクトリーズ	300	4,520.00	1,356,000
黒崎播磨	200	6,760.00	1,352,000
フジインコーポレーテッド	500	6,840.00	3,420,000
ニチアス	1,300	2,766.00	3,595,800
ニチハ	700	2,793.00	1,955,100
日本製鉄	24,600	3,222.00	79,261,200
神戸製鋼所	10,600	1,102.00	11,681,200
合同製鐵	700	3,765.00	2,635,500
JFEホールディングス	14,600	1,816.00	26,513,600
東京製鐵	1,900	1,544.00	2,933,600
共英製鋼	600	1,633.00	979,800
大和工業	900	5,740.00	5,166,000
東京鐵鋼	700	1,887.00	1,320,900
淀川製鋼所	300	2,786.00	835,800
丸一鋼管	1,700	3,020.00	5,134,000
大同特殊鋼	600	5,480.00	3,288,000
日本冶金工業	700	4,500.00	3,150,000
愛知製鋼	300	2,419.00	725,700
大平洋金属	600	1,989.00	1,193,400
新日本電工	4,600	371.00	1,706,600
栗本鐵工所	600	2,132.00	1,279,200
三菱製鋼	1,000	1,285.00	1,285,000
日本輕金属ホールディングス	1,200	1,501.00	1,801,200
三井金属鉱業	1,600	3,375.00	5,400,000
東邦亜鉛	500	2,165.00	1,082,500

三菱マテリアル	3,600	2,204.00	7,934,400
住友金属鉱山	6,500	5,152.00	33,488,000
DOWAホールディングス	1,300	4,550.00	5,915,000
古河機械金属	500	1,369.00	684,500
大阪チタニウムテクノロジーズ	1,000	3,640.00	3,640,000
東邦チタニウム	1,200	2,466.00	2,959,200
UACJ	1,000	2,701.00	2,701,000
古河電気工業	1,500	2,490.00	3,735,000
住友電気工業	18,300	1,728.00	31,622,400
フジクラ	6,300	979.00	6,167,700
リョービ	500	1,514.00	757,000
アサヒホールディングス	2,700	2,073.00	5,597,100
宮地エンジニアリンググループ	400	3,780.00	1,512,000
トーカロ	1,600	1,302.00	2,083,200
SUMCO	10,400	1,932.00	20,092,800
川田テクノロジーズ	300	3,780.00	1,134,000
東洋製罐グループホールディングス	3,300	1,886.00	6,223,800
横河ブリッジホールディングス	600	2,148.00	1,288,800
駒井ハルテック	400	1,760.00	704,000
三和ホールディングス	5,000	1,447.00	7,235,000
文化シャッター	2,300	1,182.00	2,718,600
三協立山	1,400	772.00	1,080,800
LIXIL	8,000	2,345.00	18,760,000
ノーリツ	700	1,749.00	1,224,300
長府製作所	300	2,199.00	659,700
リンナイ	1,000	9,630.00	9,630,000
岡部	2,100	787.00	1,652,700
東プレ	800	1,244.00	995,200
高周波熱錬	1,300	722.00	938,600
東京製綱	900	1,248.00	1,123,200
パイオラックス	1,000	2,026.00	2,026,000
日本発條	4,700	960.00	4,512,000
三益半導体工業	700	2,814.00	1,969,800
日本製鋼所	1,700	2,554.00	4,341,800
三浦工業	2,300	3,360.00	7,728,000
タクマ	1,900	1,407.00	2,673,300
ツガミ	1,900	1,491.00	2,832,900
オークマ	300	6,150.00	1,845,000
芝浦機械	700	3,125.00	2,187,500

アマダ	7,300	1,290.00	9,417,000
アイダエンジニアリング	1,300	830.00	1,079,000
F U J I	2,300	2,276.00	5,234,800
牧野フライス製作所	600	5,040.00	3,024,000
オーエスジー	2,400	2,003.00	4,807,200
旭ダイヤモンド工業	2,100	882.00	1,852,200
D M G 森精機	3,300	2,246.00	7,411,800
ソディック	1,700	789.00	1,341,300
ディスコ	900	43,900.00	39,510,000
日東工器	600	1,876.00	1,125,600
島精機製作所	800	1,934.00	1,547,200
オプトラン	1,000	2,266.00	2,266,000
日阪製作所	1,900	964.00	1,831,600
やまびこ	1,200	1,335.00	1,602,000
平田機工	300	6,710.00	2,013,000
ナブテスコ	3,400	3,435.00	11,679,000
三井海洋開発	1,000	1,450.00	1,450,000
レオン自動機	1,000	1,288.00	1,288,000
S M C	1,700	71,110.00	120,887,000
ホソカワミクロン	500	3,025.00	1,512,500
ユニオンツール	300	3,290.00	987,000
オイレス工業	700	1,714.00	1,199,800
日精エー・エス・ビー機械	300	4,145.00	1,243,500
サトーホールディングス	900	2,352.00	2,116,800
技研製作所	600	2,786.00	1,671,600
小松製作所	25,000	3,421.00	85,525,000
住友重機械工業	2,800	3,365.00	9,422,000
日立建機	2,000	3,320.00	6,640,000
日工	1,800	641.00	1,153,800
井関農機	600	1,216.00	729,600
北川鉄工所	1,000	1,130.00	1,130,000
ローツェ	400	11,390.00	4,556,000
クボタ	28,400	2,100.50	59,654,200
三菱化工機	600	2,372.00	1,423,200
月島機械	1,000	1,133.00	1,133,000
帝国電機製作所	700	2,722.00	1,905,400
新東工業	100	829.00	82,900
澁谷工業	500	2,490.00	1,245,000
小森コーポレーション	1,200	1,056.00	1,267,200

鶴見製作所	600	2,089.00	1,253,400
酒井重工業	300	4,075.00	1,222,500
荏原製作所	2,200	5,850.00	12,870,000
西島製作所	1,300	1,570.00	2,041,000
ダイキン工業	6,400	23,610.00	151,104,000
オルガノ	1,000	3,355.00	3,355,000
トーヨーカネツ	500	2,796.00	1,398,000
栗田工業	3,000	6,090.00	18,270,000
椿本チエイン	500	3,330.00	1,665,000
大同工業	900	780.00	702,000
アネスト岩田	1,600	990.00	1,584,000
ダイフク	2,800	7,460.00	20,888,000
加藤製作所	1,000	1,065.00	1,065,000
タダノ	3,000	1,065.00	3,195,000
フジテック	2,000	3,400.00	6,800,000
C K D	1,700	2,209.00	3,755,300
平和	1,700	2,666.00	4,532,200
理想科学工業	600	2,509.00	1,505,400
S A N K Y O	1,000	5,690.00	5,690,000
日本金銭機械	1,600	1,275.00	2,040,000
フクシマガリレイ	500	4,520.00	2,260,000
ダイコク電機	600	3,050.00	1,830,000
竹内製作所	1,100	3,140.00	3,454,000
アマノ	1,600	2,639.00	4,222,400
J U K I	1,400	640.00	896,000
ジャノメ	1,300	654.00	850,200
マックス	700	2,200.00	1,540,000
グローリー	1,100	2,931.00	3,224,100
新晃工業	800	1,683.00	1,346,400
大和冷機工業	1,000	1,267.00	1,267,000
セガサミーホールディングス	4,200	2,455.00	10,311,000
日本ピストンリング	1,000	1,381.00	1,381,000
リケン	300	2,648.00	794,400
T P R	600	1,430.00	858,000
ツバキ・ナカシマ	1,700	1,015.00	1,725,500
ホシザキ	3,500	4,945.00	17,307,500
大豊工業	1,200	655.00	786,000
日本精工	9,000	784.00	7,056,000
N T N	12,300	363.00	4,464,900

ジェイテクト	4,400	1,078.00	4,743,200
不二越	300	3,935.00	1,180,500
日本トムソン	2,300	610.00	1,403,000
T H K	3,000	3,185.00	9,555,000
ユーシン精機	1,700	748.00	1,271,600
イーグル工業	800	1,238.00	990,400
日本ピラー工業	700	3,575.00	2,502,500
キッツ	2,600	916.00	2,381,600
マキタ	6,800	3,205.00	21,794,000
日立造船	5,100	935.00	4,768,500
三菱重工業	9,500	4,954.00	47,063,000
I H I	3,500	3,480.00	12,180,000
スター精密	900	1,785.00	1,606,500
日清紡ホールディングス	3,900	1,042.00	4,063,800
イビデン	3,200	4,885.00	15,632,000
コニカミノルタ	11,000	584.00	6,424,000
ブラザー工業	6,900	2,032.00	14,020,800
ミネベアミツミ	9,400	2,458.00	23,105,200
日立製作所	26,200	7,050.00	184,710,000
東芝	10,500	4,184.00	43,932,000
三菱電機	55,200	1,573.00	86,829,600
富士電機	3,200	5,230.00	16,736,000
東洋電機製造	1,700	903.00	1,535,100
安川電機	6,300	5,580.00	35,154,000
シンフォニアテクノロジー	1,000	1,754.00	1,754,000
明電舎	1,000	1,976.00	1,976,000
山洋電気	300	5,960.00	1,788,000
デンヨー	600	1,670.00	1,002,000
ソシオネクスト	600	10,040.00	6,024,000
東芝テック	800	3,970.00	3,176,000
マブチモーター	1,300	3,800.00	4,940,000
日本電産	13,200	6,824.00	90,076,800
東光高岳	600	2,405.00	1,443,000
ダイヘン	500	4,440.00	2,220,000
J V C ケンウッド	8,300	401.00	3,328,300
大崎電気工業	1,100	535.00	588,500
オムロン	5,000	7,734.00	38,670,000
日東工業	1,000	2,794.00	2,794,000
I D E C	900	3,565.00	3,208,500

ジーエス・ユアサ コーポレーション	1,800	2,438.00	4,388,400	
メルコホールディングス	300	3,385.00	1,015,500	
日本電気	7,700	5,100.00	39,270,000	
富士通	5,400	18,370.00	99,198,000	
沖電気工業	2,600	739.00	1,921,400	
電気興業	400	2,322.00	928,800	
サンケン電気	600	11,680.00	7,008,000	
アイホン	700	2,020.00	1,414,000	
ルネサスエレクトロニクス	35,400	1,836.50	65,012,100	
セイコーエプソン	7,100	1,900.00	13,490,000	
ワコム	5,000	692.00	3,460,000	
アルバック	1,300	5,270.00	6,851,000	
アクセル	900	1,777.00	1,599,300	
日本信号	1,000	1,063.00	1,063,000	
京三製作所	2,700	423.00	1,142,100	
能美防災	600	1,675.00	1,005,000	
エレコム	1,300	1,286.00	1,671,800	
パナソニック ホールディングス	62,900	1,222.00	76,863,800	
シャープ	6,800	944.00	6,419,200	
アンリツ	3,800	1,257.00	4,776,600	
富士通ゼネラル	1,700	3,890.00	6,613,000	
ソニーグループ	37,800	11,700.00	442,260,000	
T D K	8,700	4,770.00	41,499,000	
タムラ製作所	3,000	795.00	2,385,000	
アルプスアルパイン	4,800	1,310.00	6,288,000	
メイコー	700	2,913.00	2,039,100	
日本トリム	500	3,235.00	1,617,500	
ローランド ディー . ジー .	500	3,280.00	1,640,000	
フォスター電機	1,000	1,038.00	1,038,000	
S M K	500	2,550.00	1,275,000	
ホシデン	1,600	1,669.00	2,670,400	
ヒロセ電機	900	17,250.00	15,525,000	
日本航空電子工業	1,200	2,294.00	2,752,800	
T O A	1,700	828.00	1,407,600	
マクセル	1,200	1,480.00	1,776,000	
古野電気	1,400	971.00	1,359,400	
アイコム	500	2,591.00	1,295,500	
横河電機	5,700	2,176.00	12,403,200	
新電元工業	300	3,810.00	1,143,000	

アズビル	3,700	3,610.00	13,357,000
日本光電工業	2,600	3,615.00	9,399,000
共和電業	5,300	354.00	1,876,200
堀場製作所	1,100	7,670.00	8,437,000
アドバンテスト	4,300	11,400.00	49,020,000
エスベック	700	2,064.00	1,444,800
キーエンス	5,300	60,170.00	318,901,000
日置電機	300	8,300.00	2,490,000
シスメックス	4,700	8,587.00	40,358,900
日本マイクロニクス	1,500	1,333.00	1,999,500
メガチップス	600	2,935.00	1,761,000
O B A R A G R O U P	300	4,015.00	1,204,500
コーセル	1,500	1,149.00	1,723,500
イリソ電子工業	600	4,925.00	2,955,000
オブテックスグループ	1,200	2,093.00	2,511,600
千代田インテグレ	400	2,300.00	920,000
レーザーテック	2,500	21,225.00	53,062,500
スタンレー電気	3,700	2,968.00	10,981,600
ウシオ電機	2,700	1,594.00	4,303,800
日本セラミック	700	2,765.00	1,935,500
遠藤照明	1,100	851.00	936,100
古河電池	800	1,133.00	906,400
図研	700	3,465.00	2,425,500
日本電子	1,400	4,200.00	5,880,000
カシオ計算機	4,200	1,312.00	5,510,400
ファナック	5,200	24,130.00	125,476,000
エンプラス	300	4,425.00	1,327,500
大真空	1,200	757.00	908,400
ローム	2,400	10,640.00	25,536,000
浜松ホトニクス	4,300	6,740.00	28,982,000
三井ハイテック	600	7,060.00	4,236,000
新光電気工業	2,000	3,810.00	7,620,000
京セラ	8,200	6,876.00	56,383,200
太陽誘電	2,700	4,275.00	11,542,500
村田製作所	16,200	7,678.00	124,383,600
双葉電子工業	600	546.00	327,600
北陸電気工業	1,400	1,425.00	1,995,000
ニチコン	1,500	1,444.00	2,166,000
日本ケミコン	800	2,321.00	1,856,800

K O A	1,200	1,928.00	2,313,600
小糸製作所	6,300	2,419.00	15,239,700
ミツバ	2,300	541.00	1,244,300
S C R E E Nホールディングス	1,000	11,380.00	11,380,000
キャノン電子	600	1,847.00	1,108,200
キャノン	29,000	2,970.00	86,130,000
リコー	13,900	1,050.00	14,595,000
象印マホービン	1,700	1,596.00	2,713,200
東京エレクトロン	3,800	48,030.00	182,514,000
トヨタ紡織	2,200	2,152.00	4,734,400
ユニプレス	1,200	932.00	1,118,400
豊田自動織機	3,800	8,630.00	32,794,000
モリタホールディングス	1,100	1,289.00	1,417,900
三櫻工業	1,600	700.00	1,120,000
デンソー	11,000	7,547.00	83,017,000
東海理化電機製作所	1,200	1,675.00	2,010,000
川崎重工業	4,200	3,000.00	12,600,000
名村造船所	1,800	363.00	653,400
三菱ロジスネクスト	900	848.00	763,200
近畿車輛	800	1,513.00	1,210,400
日産自動車	74,300	530.90	39,445,870
いすゞ自動車	15,600	1,669.00	26,036,400
トヨタ自動車	293,100	1,896.00	555,717,600
日野自動車	6,900	555.00	3,829,500
三菱自動車工業	21,600	557.00	12,031,200
武蔵精密工業	1,600	1,820.00	2,912,000
日産車体	500	908.00	454,000
新明和工業	2,000	1,180.00	2,360,000
極東開発工業	1,000	1,596.00	1,596,000
トピー工業	1,000	1,994.00	1,994,000
ティラド	300	2,334.00	700,200
タチエス	800	1,260.00	1,008,000
N O K	1,700	1,400.00	2,380,000
フタバ産業	3,500	432.00	1,512,000
K Y B	400	4,025.00	1,610,000
大同メタル工業	2,100	521.00	1,094,100
プレス工業	2,600	500.00	1,300,000
太平洋工業	1,600	1,175.00	1,880,000
アイシン	4,000	3,795.00	15,180,000

マツダ	17,500	1,308.00	22,890,000
今仙電機製作所	1,300	808.00	1,050,400
本田技研工業	43,000	3,613.00	155,359,000
スズキ	9,800	4,889.00	47,912,200
S U B A R U	16,900	2,231.00	37,703,900
ヤマハ発動機	8,300	3,600.00	29,880,000
T B K	3,300	278.00	917,400
エクセディ	500	1,854.00	927,000
豊田合成	1,700	2,312.00	3,930,400
愛三工業	1,500	917.00	1,375,500
ヨロズ	1,000	831.00	831,000
エフ・シー・シー	800	1,547.00	1,237,600
シマノ	2,200	21,460.00	47,212,000
テイ・エス テック	2,400	1,752.00	4,204,800
ジャムコ	700	1,609.00	1,126,300
テルモ	16,600	3,588.00	59,560,800
クリエートメディック	2,300	892.00	2,051,600
日機装	1,500	960.00	1,440,000
島津製作所	6,500	3,990.00	25,935,000
ブイ・テクノロジー	400	2,490.00	996,000
東京計器	1,100	1,306.00	1,436,600
東京精密	1,200	5,120.00	6,144,000
マニー	2,600	1,909.00	4,963,400
ニコン	8,300	1,379.00	11,445,700
トプコン	3,000	1,817.00	5,451,000
オリンパス	33,500	2,387.50	79,981,250
理研計器	400	5,570.00	2,228,000
タムロン	500	3,360.00	1,680,000
H O Y A	11,600	14,245.00	165,242,000
朝日インテック	6,100	2,353.00	14,353,300
シチズン時計	6,000	848.00	5,088,000
大研医器	4,700	497.00	2,335,900
メニコン	1,900	2,876.00	5,464,400
セイコーグループ	1,000	2,983.00	2,983,000
ニプロ	3,900	1,044.00	4,071,600
スノーピーク	1,100	2,142.00	2,356,200
パラマウントベッドホールディングス	1,100	2,416.00	2,657,600
前田工織	900	3,320.00	2,988,000
永大産業	4,000	232.00	928,000

アートネイチャー	2,500	767.00	1,917,500	
バンダイナムコホールディングス	4,900	8,421.00	41,262,900	
S H O E I	600	5,510.00	3,306,000	
フランスベッドホールディングス	500	1,040.00	520,000	
パイロットコーポレーション	900	4,275.00	3,847,500	
フジシールインターナショナル	1,200	1,546.00	1,855,200	
タカラトミー	2,400	1,387.00	3,328,800	
プロネクサス	2,000	979.00	1,958,000	
ウッドワン	800	1,295.00	1,036,000	
大建工業	400	2,302.00	920,800	
凸版印刷	7,000	2,767.00	19,369,000	
大日本印刷	6,300	3,930.00	24,759,000	
共同印刷	400	2,819.00	1,127,600	
N I S S H A	1,200	1,800.00	2,160,000	
アシックス	5,000	3,630.00	18,150,000	
ツツミ	300	2,321.00	696,300	
ローランド	400	4,055.00	1,622,000	
ヤマハ	3,300	5,150.00	16,995,000	
河合楽器製作所	300	2,751.00	825,300	
クリナップ	1,900	715.00	1,358,500	
ピジョン	3,600	2,022.00	7,279,200	
リンテック	600	2,233.00	1,339,800	
イトーキ	2,500	776.00	1,940,000	
任天堂	33,700	5,148.00	173,487,600	
三菱鉛筆	800	1,567.00	1,253,600	
タカラスタANDARD	600	1,526.00	915,600	
コクヨ	2,000	1,910.00	3,820,000	
グローブライド	600	2,541.00	1,524,600	
オカムラ	1,700	1,376.00	2,339,200	
美津濃	400	3,545.00	1,418,000	
東京電力ホールディングス	48,700	468.00	22,791,600	
中部電力	19,300	1,456.00	28,100,800	
関西電力	20,500	1,307.00	26,793,500	
中国電力	8,700	694.00	6,037,800	
北陸電力	5,800	606.00	3,514,800	
東北電力	13,600	675.00	9,180,000	
四国電力	4,800	756.00	3,628,800	
九州電力	12,500	752.00	9,400,000	
北海道電力	6,100	490.00	2,989,000	

沖縄電力	1,000	1,067.00	1,067,000	
電源開発	4,200	2,220.00	9,324,000	
イーレックス	1,100	1,895.00	2,084,500	
東京瓦斯	11,400	2,560.00	29,184,000	
大阪瓦斯	11,000	2,233.00	24,563,000	
東邦瓦斯	2,200	2,545.00	5,599,000	
北海道瓦斯	1,000	1,907.00	1,907,000	
西部ガスホールディングス	900	1,819.00	1,637,100	
静岡ガス	1,500	1,156.00	1,734,000	
メタウォーター	800	1,731.00	1,384,800	
東武鉄道	6,000	3,060.00	18,360,000	
相鉄ホールディングス	2,100	2,262.00	4,750,200	
東急	14,800	1,733.00	25,648,400	
京浜急行電鉄	6,600	1,271.00	8,388,600	
小田急電鉄	8,100	1,617.00	13,097,700	
京王電鉄	2,900	4,750.00	13,775,000	
京成電鉄	3,500	4,015.00	14,052,500	
富士急行	800	4,330.00	3,464,000	
東日本旅客鉄道	9,000	7,261.00	65,349,000	
西日本旅客鉄道	6,700	5,405.00	36,213,500	
東海旅客鉄道	4,100	15,515.00	63,611,500	
西武ホールディングス	7,000	1,339.00	9,373,000	
鴻池運輸	1,000	1,511.00	1,511,000	
西日本鉄道	1,600	2,416.00	3,865,600	
ハマキョウレックス	400	3,250.00	1,300,000	
サカイ引越センター	300	4,590.00	1,377,000	
近鉄グループホールディングス	5,500	4,255.00	23,402,500	
阪急阪神ホールディングス	7,000	3,930.00	27,510,000	
南海電気鉄道	2,700	2,902.00	7,835,400	
京阪ホールディングス	2,300	3,470.00	7,981,000	
神戸電鉄	600	3,210.00	1,926,000	
名古屋鉄道	5,800	2,047.00	11,872,600	
山陽電気鉄道	600	2,238.00	1,342,800	
ヤマトホールディングス	7,000	2,301.00	16,107,000	
山九	1,200	5,060.00	6,072,000	
丸全昭和運輸	500	3,240.00	1,620,000	
センコーグループホールディングス	3,000	977.00	2,931,000	
ニッコンホールディングス	1,500	2,595.00	3,892,500	
福山通運	500	3,565.00	1,782,500	

セイノーホールディングス	3,000	1,455.00	4,365,000	
神奈川中央交通	300	3,320.00	996,000	
A Z - C O M丸和ホールディングス	1,700	1,913.00	3,252,100	
九州旅客鉄道	3,700	3,015.00	11,155,500	
S Gホールディングス	10,400	1,929.00	20,061,600	
N I P P O N E X P R E S Sホールディングス	2,000	7,880.00	15,760,000	
日本郵船	14,500	3,395.00	49,227,500	
商船三井	9,600	3,520.00	33,792,000	
川崎汽船	4,800	3,350.00	16,080,000	
N Sユナイテッド海運	300	4,635.00	1,390,500	
飯野海運	2,500	1,131.00	2,827,500	
日本航空	13,000	2,600.00	33,800,000	
A N Aホールディングス	14,300	2,793.00	39,939,900	
トランコム	200	7,090.00	1,418,000	
日新	500	2,204.00	1,102,000	
三菱倉庫	1,000	3,270.00	3,270,000	
三井倉庫ホールディングス	700	4,005.00	2,803,500	
住友倉庫	1,500	2,265.00	3,397,500	
澁澤倉庫	600	2,237.00	1,342,200	
安田倉庫	1,100	1,032.00	1,135,200	
東洋埠頭	1,000	1,403.00	1,403,000	
上組	2,700	2,847.00	7,686,900	
N E C ネットズエスアイ	2,300	1,658.00	3,813,400	
システナ	10,300	318.00	3,275,400	
デジタルアーツ	400	5,260.00	2,104,000	
日鉄ソリューションズ	1,000	3,590.00	3,590,000	
T I S	6,200	3,535.00	21,917,000	
グリー	3,800	705.00	2,679,000	
コーエーテクモホールディングス	3,600	2,303.00	8,290,800	
K L a b	2,300	387.00	890,100	
ポルトゥウィンホールディングス	1,900	910.00	1,729,000	
ネクソン	13,800	3,060.00	42,228,000	
コロプラ	2,100	605.00	1,270,500	
ブロードリーフ	4,600	437.00	2,010,200	
デジタルハーツホールディングス	800	1,516.00	1,212,800	
S H I F T	400	22,000.00	8,800,000	
ティーガイア	600	1,671.00	1,002,600	
テクマトリックス	1,400	1,489.00	2,084,600	

ガンホー・オンライン・エンターテイメント	1,700	2,573.00	4,374,100
GMOペイメントゲートウェイ	1,300	11,100.00	14,430,000
インターネットイニシアティブ	3,400	2,712.00	9,220,800
コムチュア	1,100	2,177.00	2,394,700
ラクス	3,000	1,732.00	5,196,000
チェンジ	1,700	2,480.00	4,216,000
マネーフォワード	1,500	4,600.00	6,900,000
Appier Group	2,000	1,867.00	3,734,000
野村総合研究所	11,200	2,997.00	33,566,400
インテージホールディングス	1,100	1,548.00	1,702,800
インフォコム	1,000	2,375.00	2,375,000
シンプレクス・ホールディングス	1,100	2,396.00	2,635,600
ラクスル	2,000	1,666.00	3,332,000
メルカリ	3,000	2,469.00	7,407,000
Sansan	2,400	1,618.00	3,883,200
メドレー	500	4,240.00	2,120,000
JMDC	1,000	4,300.00	4,300,000
フジ・メディア・ホールディングス	3,800	1,219.00	4,632,200
オービック	1,800	20,340.00	36,612,000
ジャストシステム	1,000	3,415.00	3,415,000
TDCソフト	1,600	1,504.00	2,406,400
Zホールディングス	79,000	370.20	29,245,800
トレンドマイクロ	3,200	6,500.00	20,800,000
日本オラクル	1,000	9,040.00	9,040,000
フューチャー	1,700	1,783.00	3,031,100
オービックビジネスコンサルタント	1,200	4,865.00	5,838,000
伊藤忠テクノソリューションズ	3,100	3,175.00	9,842,500
大塚商会	3,200	4,685.00	14,992,000
サイボウズ	1,300	3,100.00	4,030,000
電通国際情報サービス	800	4,855.00	3,884,000
デジタルガレージ	1,000	4,265.00	4,265,000
ウェザーニューズ	300	6,750.00	2,025,000
WOWOW	700	1,289.00	902,300
ネットワンシステムズ	2,200	3,095.00	6,809,000
アルゴグラフィックス	600	3,795.00	2,277,000
マーベラス	1,200	706.00	847,200
エイベックス	1,200	1,550.00	1,860,000
BIPROGY	2,100	3,150.00	6,615,000
TBSホールディングス	2,400	1,955.00	4,692,000

日本テレビホールディングス	4,100	1,190.00	4,879,000
テレビ朝日ホールディングス	1,000	1,571.00	1,571,000
スカパーJ S A Tホールディングス	5,000	531.00	2,655,000
テレビ東京ホールディングス	700	2,425.00	1,697,500
日本通信	8,600	252.00	2,167,200
日本電信電話	68,700	3,986.00	273,838,200
K D D I	41,500	4,113.00	170,689,500
ソフトバンク	86,600	1,547.00	133,970,200
光通信	700	19,680.00	13,776,000
G M Oインターネットグループ	2,500	2,575.00	6,437,500
K A D O K A W A	3,100	2,746.00	8,512,600
学研ホールディングス	1,900	864.00	1,641,600
ゼンリン	1,500	851.00	1,276,500
松竹	300	11,410.00	3,423,000
東宝	3,400	4,940.00	16,796,000
東映	200	17,950.00	3,590,000
エヌ・ティ・ティ・データ	17,100	1,787.00	30,557,700
D T S	1,400	3,300.00	4,620,000
スクウェア・エニックス・ホールディングス	2,800	6,290.00	17,612,000
カブコン	5,400	4,395.00	23,733,000
S C S K	4,500	1,966.00	8,847,000
N S W	1,000	2,197.00	2,197,000
アイネス	1,400	1,421.00	1,989,400
T K C	1,100	3,760.00	4,136,000
富士ソフト	700	8,330.00	5,831,000
N S D	2,200	2,481.00	5,458,200
コナミグループ	2,300	6,310.00	14,513,000
J B C Cホールディングス	1,200	2,147.00	2,576,400
ソフトバンクグループ	31,000	5,343.00	165,633,000
エレマテック	900	1,892.00	1,702,800
あらた	400	4,180.00	1,672,000
円谷フィールドホールディングス	700	4,105.00	2,873,500
双日	6,200	2,797.00	17,341,400
アルフレッサホールディングス	5,300	1,744.00	9,243,200
横浜冷凍	1,000	1,011.00	1,011,000
アルコニックス	1,200	1,396.00	1,675,200
神戸物産	4,500	3,525.00	15,862,500
あいホールディングス	1,000	2,278.00	2,278,000
ダイワボウホールディングス	2,300	2,257.00	5,191,100

マクニカホールディングス	1,500	3,690.00	5,535,000	
バイタルケーエスケー・ホールディングス	600	982.00	589,200	
レスターホールディングス	300	2,395.00	718,500	
T O K A Iホールディングス	2,800	887.00	2,483,600	
シップヘルスケアホールディングス	2,200	2,428.00	5,341,600	
コメダホールディングス	2,000	2,376.00	4,752,000	
フルサト・マルカホールディングス	600	2,911.00	1,746,600	
小野建	800	1,552.00	1,241,600	
エコートレーディング	2,000	824.00	1,648,000	
ナガイレーベン	800	2,013.00	1,610,400	
三菱食品	500	3,335.00	1,667,500	
松田産業	700	2,382.00	1,667,400	
第一興商	1,100	4,330.00	4,763,000	
メディバルホールディングス	5,700	1,881.00	10,721,700	
アズワン	1,000	5,580.00	5,580,000	
ドウシシャ	800	1,957.00	1,565,600	
高速	900	2,000.00	1,800,000	
日本ライフライン	2,100	975.00	2,047,500	
I D O M	2,500	878.00	2,195,000	
シークス	1,000	1,402.00	1,402,000	
伊藤忠商事	34,900	4,283.00	149,476,700	
丸紅	44,500	1,874.50	83,415,250	
長瀬産業	2,300	2,203.00	5,066,900	
豊田通商	4,900	5,620.00	27,538,000	
兼松	2,100	1,712.00	3,595,200	
三井物産	41,600	4,179.00	173,846,400	
日本紙バルブ商事	300	5,570.00	1,671,000	
カメイ	600	1,523.00	913,800	
スターゼン	800	2,291.00	1,832,800	
山善	1,700	1,075.00	1,827,500	
住友商事	34,900	2,418.00	84,388,200	
内田洋行	300	5,040.00	1,512,000	
三菱商事	35,500	4,991.00	177,180,500	
第一実業	400	5,340.00	2,136,000	
キヤノンマーケティングジャパン	1,300	3,230.00	4,199,000	
菱洋エレクトロ	500	2,728.00	1,364,000	
ユアサ商事	500	3,885.00	1,942,500	
阪和興業	1,200	4,000.00	4,800,000	
正栄食品工業	500	4,355.00	2,177,500	

菱電商事	600	1,920.00	1,152,000
岩谷産業	1,400	5,890.00	8,246,000
三愛オブリ	1,700	1,445.00	2,456,500
稲畑産業	1,300	2,777.00	3,610,100
ワキタ	1,200	1,181.00	1,417,200
東邦ホールディングス	1,200	2,341.00	2,809,200
サンゲツ	1,200	2,400.00	2,880,000
伊藤忠エネクス	200	1,153.00	230,600
サンリオ	1,700	4,340.00	7,378,000
リョーサン	600	3,315.00	1,989,000
新光商事	1,500	1,323.00	1,984,500
三信電気	600	2,532.00	1,519,200
東陽テクニカ	1,300	1,415.00	1,839,500
モスフードサービス	1,000	3,075.00	3,075,000
加賀電子	600	5,170.00	3,102,000
立花エレテック	600	2,080.00	1,248,000
PALTAC	900	4,980.00	4,482,000
ヤマタネ	1,200	1,719.00	2,062,800
トラスコ中山	1,300	2,198.00	2,857,400
オートバックスセブン	1,200	1,486.00	1,783,200
加藤産業	700	3,560.00	2,492,000
イエローハット	1,000	1,833.00	1,833,000
日伝	600	2,003.00	1,201,800
因幡電機産業	1,000	2,958.00	2,958,000
ミスミグループ本社	8,600	3,330.00	28,638,000
スズケン	1,800	3,520.00	6,336,000
ローソン	1,400	5,510.00	7,714,000
サンエー	300	4,210.00	1,263,000
カワチ薬品	400	2,352.00	940,800
エービーシー・マート	900	7,210.00	6,489,000
アスクル	1,700	1,693.00	2,878,100
ゲオホールディングス	1,000	1,714.00	1,714,000
アダストリア	800	2,451.00	1,960,800
くら寿司	900	3,415.00	3,073,500
キャンドウ	400	2,465.00	986,000
パルグループホールディングス	700	2,964.00	2,074,800
エディオン	2,000	1,362.00	2,724,000
サーラコーポレーション	2,100	759.00	1,593,900
ハニーズホールディングス	1,100	1,601.00	1,761,100

アルペン	500	1,988.00	994,000	
クオールホールディングス	1,200	1,178.00	1,413,600	
ジーンズホールディングス	500	3,725.00	1,862,500	
ビックカメラ	4,100	1,167.00	4,784,700	
D C Mホールディングス	3,900	1,156.00	4,508,400	
MonotaRO	8,300	1,820.00	15,106,000	
J . フロント リテイリング	7,000	1,338.00	9,366,000	
ドトール・日レスホールディングス	700	1,905.00	1,333,500	
マツキヨココカラ&カンパニー	3,500	6,740.00	23,590,000	
ブロンコビリー	700	2,461.00	1,722,700	
Z O Z O	3,900	3,015.00	11,758,500	
物語コーポレーション	1,200	2,712.00	3,254,400	
三越伊勢丹ホールディングス	9,700	1,480.00	14,356,000	
ウエルシアホールディングス	3,300	2,819.00	9,302,700	
クリエイティブSDホールディングス	900	3,420.00	3,078,000	
チムニー	1,600	1,199.00	1,918,400	
オイシックス・ラ・大地	1,100	2,205.00	2,425,500	
ネクステージ	1,600	2,891.00	4,625,600	
ジョイフル本田	1,900	1,771.00	3,364,900	
すかいらーくホールディングス	7,700	1,632.00	12,566,400	
ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス	1,700	1,116.00	1,897,200	
あさひ	1,400	1,365.00	1,911,000	
コスモス薬品	700	11,870.00	8,309,000	
セブン&アイ・ホールディングス	19,500	6,200.00	120,900,000	
クリエイティブ・レストランズ・ホールディングス	4,600	1,063.00	4,889,800	
ツルハホールディングス	1,200	8,740.00	10,488,000	
サンマルクホールディングス	800	1,801.00	1,440,800	
トリドールホールディングス	1,700	2,792.00	4,746,400	
クスリのアオキホールディングス	700	6,770.00	4,739,000	
FOOD & LIFE COMPANIES	3,500	3,670.00	12,845,000	
ノジマ	2,000	1,423.00	2,846,000	
カッパ・クリエイティブ	1,600	1,462.00	2,339,200	
良品計画	7,500	1,395.00	10,462,500	
コナカ	2,300	366.00	841,800	
コーナン商事	900	3,245.00	2,920,500	
エコス	900	1,850.00	1,665,000	

パン・パシフィック・インターナショナル ホールディングス	11,600	2,592.00	30,067,200
西松屋チェーン	1,700	1,618.00	2,750,600
ゼンショーホールディングス	3,300	4,085.00	13,480,500
サイゼリヤ	1,000	3,350.00	3,350,000
V Tホールディングス	2,700	532.00	1,436,400
ユナイテッドアローズ	800	1,876.00	1,500,800
ハイデイ日高	1,000	2,081.00	2,081,000
コロワイド	2,800	1,980.00	5,544,000
壱番屋	400	4,875.00	1,950,000
スギホールディングス	1,300	5,620.00	7,306,000
ヨンドシーホールディングス	600	1,802.00	1,081,200
木曽路	1,100	2,245.00	2,469,500
S R Sホールディングス	2,100	941.00	1,976,100
ケーヨー	1,700	840.00	1,428,000
上新電機	500	2,077.00	1,038,500
日本瓦斯	3,200	1,925.00	6,160,000
ロイヤルホールディングス	1,500	2,773.00	4,159,500
チヨダ	500	823.00	411,500
ライフコーポレーション	600	2,629.00	1,577,400
リンガーハット	1,200	2,242.00	2,690,400
A O K Iホールディングス	1,500	881.00	1,321,500
オークワ	1,000	855.00	855,000
コメリ	1,000	2,742.00	2,742,000
青山商事	1,400	1,017.00	1,423,800
しまむら	700	13,400.00	9,380,000
高島屋	4,300	1,998.00	8,591,400
松屋	1,600	1,163.00	1,860,800
エイチ・ツー・オー リテイリング	2,900	1,520.00	4,408,000
近鉄百貨店	100	2,440.00	244,000
丸井グループ	4,300	2,141.00	9,206,300
アクシアル リテイリング	500	3,460.00	1,730,000
イオン	19,300	2,573.00	49,658,900
イズミ	900	3,095.00	2,785,500
平和堂	700	2,067.00	1,446,900
フジ	1,000	1,729.00	1,729,000
ヤオコー	700	6,870.00	4,809,000
ゼビオホールディングス	800	1,047.00	837,600
ケーズホールディングス	4,400	1,218.00	5,359,200

アインホールディングス	900	5,690.00	5,121,000
ヤマダホールディングス	23,500	489.00	11,491,500
アーケランズ	1,300	1,486.00	1,931,800
ニトリホールディングス	2,300	15,545.00	35,753,500
吉野家ホールディングス	2,300	2,381.00	5,476,300
サガミホールディングス	1,800	1,307.00	2,352,600
王将フードサービス	300	6,120.00	1,836,000
ミニストップ	300	1,398.00	419,400
アークス	700	2,237.00	1,565,900
パローホールディングス	900	2,038.00	1,834,200
ベルク	300	5,580.00	1,674,000
ファーストリテイリング	2,700	28,735.00	77,584,500
サンドラッグ	2,300	3,570.00	8,211,000
サクスパー ホールディングス	2,000	813.00	1,626,000
ベルーナ	1,600	721.00	1,153,600
いよぎんホールディングス	5,900	804.00	4,743,600
しずおかフィナンシャルグループ	12,300	1,055.00	12,976,500
ちゅうぎんフィナンシャルグループ	3,700	957.00	3,540,900
じもとホールディングス	2,700	435.00	1,174,500
めぶきフィナンシャルグループ	24,000	367.00	8,808,000
東京きらぼしフィナンシャルグループ	900	2,885.00	2,596,500
九州フィナンシャルグループ	7,800	519.00	4,048,200
ゆうちょ銀行	13,300	1,197.00	15,920,100
コンコルディア・フィナンシャルグループ	28,100	567.00	15,932,700
西日本フィナンシャルホールディングス	2,800	1,116.00	3,124,800
三十三フィナンシャルグループ	300	1,736.00	520,800
第四北越フィナンシャルグループ	500	3,180.00	1,590,000
ひろぎんホールディングス	5,500	698.00	3,839,000
おきなわフィナンシャルグループ	600	2,300.00	1,380,000
十六フィナンシャルグループ	500	3,255.00	1,627,500
北國フィナンシャルホールディングス	500	4,270.00	2,135,000
プロクレアホールディングス	1,000	2,265.00	2,265,000
あいちフィナンシャルグループ	800	2,458.00	1,966,400
S B I 新生銀行	1,800	2,485.00	4,473,000
あおぞら銀行	2,800	2,581.00	7,226,800
三菱UFJフィナンシャル・グループ	333,700	932.70	311,241,990
りそなホールディングス	69,400	733.80	50,925,720
三井住友トラスト・ホールディングス	9,800	5,165.00	50,617,000
三井住友フィナンシャルグループ	38,200	5,915.00	225,953,000

千葉銀行	14,900	961.00	14,318,900
群馬銀行	9,300	500.00	4,650,000
武蔵野銀行	300	2,491.00	747,300
筑波銀行	10,500	232.00	2,436,000
七十七銀行	1,400	2,312.00	3,236,800
秋田銀行	700	1,939.00	1,357,300
山形銀行	1,200	1,216.00	1,459,200
岩手銀行	700	2,444.00	1,710,800
東邦銀行	3,400	238.00	809,200
東北銀行	1,900	1,023.00	1,943,700
ふくおかフィナンシャルグループ	4,200	2,866.00	12,037,200
スルガ銀行	4,400	428.00	1,883,200
八十二銀行	9,000	616.00	5,544,000
山梨中央銀行	800	1,309.00	1,047,200
大垣共立銀行	900	2,050.00	1,845,000
福井銀行	600	1,675.00	1,005,000
清水銀行	1,200	1,518.00	1,821,600
滋賀銀行	800	2,889.00	2,311,200
南都銀行	900	2,672.00	2,404,800
百五銀行	2,700	409.00	1,104,300
京都銀行	1,600	6,610.00	10,576,000
紀陽銀行	1,700	1,624.00	2,760,800
ほくほくフィナンシャルグループ	3,500	1,062.00	3,717,000
山陰合同銀行	2,500	831.00	2,077,500
百十四銀行	500	2,003.00	1,001,500
四国銀行	600	955.00	573,000
阿波銀行	600	2,166.00	1,299,600
大分銀行	600	2,283.00	1,369,800
宮崎銀行	500	2,686.00	1,343,000
佐賀銀行	900	1,836.00	1,652,400
琉球銀行	1,700	1,033.00	1,756,100
セブン銀行	16,500	274.00	4,521,000
みずほフィナンシャルグループ	75,500	2,115.00	159,682,500
山口フィナンシャルグループ	3,900	917.00	3,576,300
名古屋銀行	300	3,465.00	1,039,500
北洋銀行	8,600	316.00	2,717,600
愛媛銀行	1,200	959.00	1,150,800
京葉銀行	2,100	643.00	1,350,300
栃木銀行	4,300	338.00	1,453,400

北日本銀行	1,100	2,178.00	2,395,800
東和銀行	2,700	608.00	1,641,600
福島銀行	6,200	262.00	1,624,400
大東銀行	2,600	733.00	1,905,800
トモニホールディングス	4,800	391.00	1,876,800
フィデアホールディングス	1,000	1,495.00	1,495,000
池田泉州ホールディングス	7,700	260.00	2,002,000
F P G	2,500	1,175.00	2,937,500
S B Iホールディングス	7,700	2,879.00	22,168,300
ジャフコ グループ	2,000	2,242.00	4,484,000
大和証券グループ本社	36,800	650.00	23,920,000
野村ホールディングス	95,100	547.80	52,095,780
岡三証券グループ	2,900	427.00	1,238,300
丸三証券	3,700	441.00	1,631,700
東洋証券	5,000	348.00	1,740,000
東海東京フィナンシャル・ホールディングス	5,100	380.00	1,938,000
水戸証券	5,400	305.00	1,647,000
いちよし証券	2,100	640.00	1,344,000
松井証券	2,500	811.00	2,027,500
マネックスグループ	6,500	448.00	2,912,000
極東証券	1,800	626.00	1,126,800
岩井コスモホールディングス	1,000	1,376.00	1,376,000
かんぽ生命保険	6,300	2,429.00	15,302,700
S O M P Oホールディングス	9,000	5,844.00	52,596,000
アニコム ホールディングス	2,700	554.00	1,495,800
M S & A Dインシュアランスグループホールディングス	10,600	4,506.00	47,763,600
第一生命ホールディングス	27,000	2,749.00	74,223,000
東京海上ホールディングス	52,900	2,881.00	152,404,900
T & Dホールディングス	14,200	1,923.00	27,306,600
全国保証	1,500	5,510.00	8,265,000
アルヒ	1,800	1,106.00	1,990,800
クレディセゾン	3,700	1,891.00	6,996,700
芙蓉総合リース	500	9,590.00	4,795,000
みずほリース	800	3,710.00	2,968,000
東京センチュリー	1,000	4,775.00	4,775,000
日本証券金融	2,500	1,033.00	2,582,500
アイフル	10,700	368.00	3,937,600
リコーリース	400	4,105.00	1,642,000

イオンフィナンシャルサービス	3,200	1,271.00	4,067,200
アコム	10,900	341.00	3,716,900
ジャックス	800	4,660.00	3,728,000
オリエントコーポレーション	1,800	1,182.00	2,127,600
オリックス	34,200	2,400.50	82,097,100
三菱HCキャピタル	18,600	730.00	13,578,000
日本取引所グループ	14,800	2,033.50	30,095,800
イー・ギャランティ	1,100	2,152.00	2,367,200
NECキャピタルソリューション	300	2,747.00	824,100
大東建託	1,900	13,140.00	24,966,000
いちご	7,700	288.00	2,217,600
日本駐車場開発	11,000	247.00	2,717,000
ヒューリック	12,300	1,105.00	13,591,500
野村不動産ホールディングス	3,300	3,060.00	10,098,000
サムティ	1,000	2,181.00	2,181,000
フージャースホールディングス	2,300	867.00	1,994,100
オープンハウスグループ	2,000	4,995.00	9,990,000
東急不動産ホールディングス	16,300	665.00	10,839,500
飯田グループホールディングス	4,600	2,284.00	10,506,400
パーク24	4,400	1,935.00	8,514,000
三井不動産	23,000	2,613.00	60,099,000
三菱地所	31,900	1,665.00	53,113,500
平和不動産	1,000	3,815.00	3,815,000
東京建物	5,100	1,681.00	8,573,100
京阪神ビルディング	1,200	1,210.00	1,452,000
住友不動産	9,700	3,198.00	31,020,600
テオーシー	1,500	648.00	972,000
東京楽天地	400	4,200.00	1,680,000
レオパレス21	7,300	335.00	2,445,500
スターツコーポレーション	800	2,650.00	2,120,000
空港施設	2,300	569.00	1,308,700
ゴールドクレスト	500	1,734.00	867,000
MIRARTHホールディングス	5,300	385.00	2,040,500
イオンモール	2,600	1,778.00	4,622,800
カチタス	1,700	2,681.00	4,557,700
トーセイ	1,600	1,477.00	2,363,200
サンフロンティア不動産	1,600	1,278.00	2,044,800
日本空港ビルデング	1,900	6,580.00	12,502,000
日本工営	600	3,375.00	2,025,000

L I F U L L	9,000	224.00	2,016,000
M I X I	1,600	2,771.00	4,433,600
日本M&Aセンターホールディングス	9,800	1,071.00	10,495,800
UTグループ	1,000	2,382.00	2,382,000
オープンアップグループ	2,100	1,920.00	4,032,000
コシダカホールディングス	2,400	944.00	2,265,600
エス・エム・エス	2,300	3,220.00	7,406,000
パーソルホールディングス	6,300	2,681.00	16,890,300
クックパッド	7,300	222.00	1,620,600
シミックホールディングス	1,100	2,020.00	2,222,000
総合警備保障	2,200	3,660.00	8,052,000
カカクコム	4,500	1,881.00	8,464,500
ディップ	1,100	3,580.00	3,938,000
新日本科学	800	2,950.00	2,360,000
ベネフィット・ワン	2,900	2,038.00	5,910,200
エムスリー	11,200	3,265.00	36,568,000
アウトソーシング	3,700	1,390.00	5,143,000
ディー・エヌ・エー	3,000	1,787.00	5,361,000
博報堂DYホールディングス	7,300	1,559.00	11,380,700
ぐるなび	2,900	340.00	986,000
ジャパンベストレスキューシステム	1,400	772.00	1,080,800
ファンコミュニケーションズ	4,900	410.00	2,009,000
バリューコマース	800	1,675.00	1,340,000
インフォマート	7,000	294.00	2,058,000
J Pホールディングス	7,700	346.00	2,664,200
プレステージ・インターナショナル	3,600	637.00	2,293,200
電通グループ	5,800	4,575.00	26,535,000
テイクアンドギヴ・ニーズ	600	1,394.00	836,400
H . U . グループホールディングス	1,700	2,803.00	4,765,100
オリエンタルランド	5,800	22,120.00	128,296,000
ダスキン	1,200	3,295.00	3,954,000
明光ネットワークジャパン	3,200	633.00	2,025,600
ファルコホールディングス	1,000	1,996.00	1,996,000
ラウンドワン	5,300	532.00	2,819,600
リゾートトラスト	2,300	2,156.00	4,958,800
ビー・エム・エル	900	3,235.00	2,911,500
ユー・エス・エス	5,700	2,297.00	13,092,900
サイバーエージェント	13,700	1,129.00	15,467,300
楽天グループ	26,500	653.00	17,304,500

フルキャストホールディングス	800	2,457.00	1,965,600	
エン・ジャパン	1,200	2,506.00	3,007,200	
テクノプロ・ホールディングス	3,400	3,615.00	12,291,000	
アイ・アールジャパンホールディングス	500	2,270.00	1,135,000	
K e e P e r 技研	500	4,720.00	2,360,000	
ジャパンマテリアル	1,900	2,208.00	4,195,200	
M & A キャピタルパートナーズ	700	3,670.00	2,569,000	
リクルートホールディングス	40,900	3,535.00	144,581,500	
日本郵政	70,300	1,231.50	86,574,450	
ベルシステム24ホールディングス	1,300	1,501.00	1,951,300	
ソラスト	2,400	652.00	1,564,800	
インソース	1,700	1,410.00	2,397,000	
ベйкаレント・コンサルティング	4,300	5,550.00	23,865,000	
ジャパンエレベーターサービスホールディングス	2,300	1,950.00	4,485,000	
リログループ	3,200	2,176.00	6,963,200	
T R E ホールディングス	1,400	1,535.00	2,149,000	
共立メンテナンス	1,100	5,490.00	6,039,000	
イチネンホールディングス	1,700	1,333.00	2,266,100	
建設技術研究所	600	3,580.00	2,148,000	
スバル興業	300	9,410.00	2,823,000	
東京テアトル	2,400	1,131.00	2,714,400	
東京都競馬	600	3,680.00	2,208,000	
カナモト	800	2,272.00	1,817,600	
西尾レントオール	400	3,235.00	1,294,000	
トランス・コスモス	900	3,350.00	3,015,000	
乃村工藝社	3,000	908.00	2,724,000	
日本管財	900	2,615.00	2,353,500	
トーカイ	800	2,001.00	1,600,800	
セコム	5,700	8,031.00	45,776,700	
丹青社	2,300	746.00	1,715,800	
メイテック	2,300	2,459.00	5,655,700	
応用地質	1,000	2,246.00	2,246,000	
船井総研ホールディングス	1,400	2,855.00	3,997,000	
ベネッセホールディングス	2,300	2,026.00	4,659,800	
イオンディライト	800	3,070.00	2,456,000	
ダイセキ	1,300	4,105.00	5,336,500	
合 計	6,200,800		15,616,731,720	

(2)株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

(2023年 3月10日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	505,375,000	-	501,250,000	4,125,000
	合計	505,375,000	-	501,250,000	4,125,000

(注) 時価の算定方法

株価指数先物取引

原則として、計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

* 上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはございません。

2【ファンドの現況】

(2023年3月31日現在)

【純資産額計算書】

明治安田TOPIXオープン

資産総額	155,631,190 円
負債総額	58,705 円
純資産総額（ - ）	155,572,485 円
発行済口数	64,044,900 口
1口当たり純資産額（ / ）	2.4291 円
（1万口当たり純資産額）	（24,291 円）

(参考)

純資産額計算書

明治安田TOPIXマザーファンド

資産総額	15,547,998,410 円
負債総額	5,097,905 円
純資産総額（ - ）	15,542,900,505 円
発行済口数	4,344,386,536 口
1口当たり純資産額（ / ）	3.5777 円
（1万口当たり純資産額）	（35,777 円）

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 名義書換の事務等

該当事項はありません。

委託会社は、この信託の受益権を取扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

したがって、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

(2) 受益者に対する特典

該当事項はありません。

(3) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

前項の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(4) 受益権の譲渡制限および譲渡の対抗要件

譲渡制限はありません。ただし、受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

(5) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(6) 質権口記載又は記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

(7) 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払います。

第二部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

(1) 資本金の額

本書提出日現在の資本金の額： 10億円

会社が発行する株式総数： 33,220株

発行済株式総数： 18,887株

<過去5年間における資本金の額の推移>

該当事項はありません。

(2) 委託会社の機構

会社の意思決定機構

経営の意思決定機関として取締役会をおきます。取締役会は、法令、定款に定める事項ならびに本会社の業務執行に関する重要事項を決定するほか、執行役員を選任し、本会社の業務執行を委任します。執行役員は取締役会において決定された基本方針に則り、本会社の業務執行を行います。

投資運用の意思決定機構

1. 投資政策委員会にて、マクロ経済環境・市況環境に関する分析、資産配分・資産毎の運用戦略に関する検討を行います。
2. ファンドの運用担当者は、投資政策委員会における分析・検討等を踏まえて運用計画を策定し、運用計画に基づき、有価証券等の売買をトレーディング部門に指図します。
3. ファンドの運用の基本規程等の遵守状況の管理、運用資産のリスク管理は、運用部門から独立したコンプライアンス・リスク管理部、運用企画部が中心となって行います。
4. 投資管理委員会にて、ファンドの運用パフォーマンスの評価等を行い、これを運用部門にフィードバックすることにより、より精度の高い運用体制を維持するよう努めています。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）およびその受益権の募集又は私募（第二種金融商品取引業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。

2023年3月31日現在、委託会社が運用の指図を行っている証券投資信託は以下の通りです（ただし、親投資信託を除きます。）。

種類		本数	純資産総額
株式投資信託	追加型	154 本	1,559,028,815,472 円
	単位型	25 本	404,111,458,447 円
公社債投資信託	単位型	19 本	41,409,960,430 円
合計		198 本	2,004,550,234,349 円

3【委託会社等の経理状況】

1．財務諸表の作成方法について

委託会社である明治安田アセットマネジメント株式会社（以下「委託会社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	7,648,171	8,881,852
前払費用	200,486	200,271
未収入金	113,842	-
未収委託者報酬	1,490,727	1,515,280
未収運用受託報酬	130,764	312,387
未収投資助言報酬	258,067	32,339
その他	5,074	9,953
流動資産合計	9,847,134	10,952,085
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,707,678	1,657,578
器具備品	1,345,634	1,273,616
建設仮勘定	1,354	-
有形固定資産合計	1,054,667	931,194
無形固定資産		
ソフトウェア	125,943	176,635
ソフトウェア仮勘定	22,934	27,900
無形固定資産合計	148,878	204,535
投資その他の資産		
投資有価証券	4,362	6,531
長期差入保証金	300,000	300,000
長期前払費用	13,175	19,485
前払年金費用	223,189	240,647
繰延税金資産	15,044	29,735
投資その他の資産合計	555,772	596,399
固定資産合計	1,759,319	1,732,130
資産合計	11,606,453	12,684,216

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	288,719	760,150
未払金	940,511	1,014,467
未払収益分配金	149	-
未払手数料	461,104	500,292
その他未払金	479,258	514,174
未払費用	38,371	40,746
未払法人税等	145,252	336,717
未払消費税等	26,255	254,752
賞与引当金	155,393	165,699
前受収益	3,666	3,666
流動負債合計	1,598,171	2,576,200
固定負債		
長期未払金	138,492	86,543
資産除去債務	227,552	228,039
固定負債合計	366,045	314,582
負債合計	1,964,216	2,890,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金		
資本準備金	660,443	660,443
その他資本剰余金	2,854,339	2,854,339
資本剰余金合計	3,514,783	3,514,783
利益剰余金		
利益準備金	83,040	83,040
その他利益剰余金		
別途積立金	3,092,001	3,092,001
繰越利益剰余金	1,952,160	2,103,933
利益剰余金合計	5,127,202	5,278,975
株主資本合計	9,641,986	9,793,758
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	251	325
評価・換算差額等合計	251	325
純資産合計	9,642,237	9,793,433
負債・純資産合計	11,606,453	12,684,216

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	6,334,125	7,916,562
受入手数料	11,877	40,707
運用受託報酬	1,871,659	2,132,888
投資助言報酬	550,486	438,441
その他収益	6,666	10,000
営業収益合計	8,774,814	10,538,599
営業費用		
支払手数料	1,908,970	2,129,117
広告宣伝費	54,081	46,842
公告費	250	250
調査費	1,629,740	2,446,317
調査費	694,741	803,814
委託調査費	934,999	1,642,503
委託計算費	382,749	439,674
営業雑経費	138,454	145,382
通信費	21,821	21,451
印刷費	97,182	106,245
協会費	13,023	10,338
諸会費	6,147	7,239
営業雑費	279	106
営業費用合計	4,114,246	5,207,584
一般管理費		
給料	2,035,031	2,193,365
役員報酬	65,817	65,537
給料・手当	1,535,188	1,647,697
賞与	411,987	444,284
その他報酬給与	22,038	35,846
賞与引当金繰入	155,393	165,699
法定福利費	303,647	326,765
福利厚生費	40,150	31,829
交際費	1,508	2,525
寄付金	8,669	11,484
旅費交通費	9,202	6,856
租税公課	68,896	84,051
不動産賃借料	275,188	450,152
退職給付費用	145,682	56,072
固定資産減価償却費	128,728	203,922
事務委託費	98,607	275,646
諸経費	167,863	73,144
一般管理費合計	3,147,203	3,881,516
営業利益	1,513,364	1,449,498

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業外収益		
受取利息	100	107
受取配当金	30	270
投資有価証券売却益	12	145
保険契約返戻金・配当金	¹ 1,496	¹ 1,810
為替差益	327	155
雑益	3,001	1,551
営業外収益合計	4,967	4,039
営業外費用		
雑損失	645	524
営業外費用合計	645	524
経常利益	1,517,687	1,453,013
特別損失		
移転関連費用	² 222,760	² -
特別損失合計	222,760	-
税引前当期純利益	1,294,926	1,453,013
法人税、住民税及び事業税	334,591	462,476
法人税等調整額	107,115	14,436
法人税等合計	441,707	448,039
当期純利益	853,219	1,004,974

（３）【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	-	-	-	-
当期末残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783

	株主資本				
	利益剰余金				株主資本 合計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	83,040	3,092,001	2,227,250	5,402,292	9,917,076
当期変動額					
剰余金の配当			1,128,309	1,128,309	1,128,309
当期純利益			853,219	853,219	853,219
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	275,090	275,090	275,090
当期末残高	83,040	3,092,001	1,952,160	5,127,202	9,641,986

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	-	-	9,917,076
当期変動額			
剰余金の配当			1,128,309
当期純利益			853,219
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	251	251	251
当期変動額合計	251	251	274,838
当期末残高	251	251	9,642,237

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	-	-	-	-
当期末残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783

	株主資本				
	利益準備金	利益剰余金			株主資本 合計
		その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
別途積立金		繰越利益 剰余金			
当期首残高	83,040	3,092,001	1,952,160	5,127,202	9,641,986
当期変動額					
剰余金の配当			853,201	853,201	853,201
当期純利益			1,004,974	1,004,974	1,004,974
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	151,772	151,772	151,772
当期末残高	83,040	3,092,001	2,103,933	5,278,975	9,793,758

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	251	251	9,642,237
当期変動額			
剰余金の配当			853,201
当期純利益			1,004,974
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	577	577	577
当期変動額合計	577	577	151,195
当期末残高	325	325	9,793,433

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法 その他有価証券 時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）
2. 固定資産の減価償却方法 (1) 有形固定資産 定額法 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 建物 6年～18年 器具備品 3年～20年 (2) 無形固定資産 定額法 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。
3. 引当金の計上基準 (1) 賞与引当金は、従業員賞与の支給に充てるため、当事業年度に見合う支給見込額に基づき計上しております。 (2) 退職給付引当金は、従業員に対する退職金の支払に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を、簡便法により計上しております。
4. 重要な収益及び費用の計上基準 投資信託委託業務及び投資顧問業務については、日々の純資産総額に対してあらかじめ定めた料率を乗じた金額を収益として認識しています。
5. 会計方針の変更 (1) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。 収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、財務諸表に与える影響はありません。 (2) 「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当事業年度から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。 なお、財務諸表に与える影響はありません。 また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うことといたしました。ただし、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 2019年7月4日）第7-4項に定める経過的な取扱いに従って、当該注記のうち前事業年度に係るものについては記載していません。

(貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
建物	17,690千円	67,791千円
器具備品	327,329千円	322,366千円

(損益計算書関係)

1 各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
保険契約返戻金・配当金	1,496千円	1,810千円

2 移転関連費用

前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

新オフィスへの移転に伴う、移転費用(引越費用、原状回復工事費用)並びに内装工事期間及び原状回復期間等に係る賃借料を計上しております。

当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

移転に関する費用の計上はありません。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式	18,887株	-	-	18,887株

2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2020年6月30日 定時株主総会	普通株式	1,128,309,380円	59,740円00銭	2020年3月31日	2020年6月30日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2021年6月30日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	853,201,338円	45,174円00銭	2021年 3月31日	2021年 6月30日

当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式	18,887株	-	-	18,887株

2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2021年6月30日 定時株主総会	普通 株式	853,201,338円	45,174円00銭	2021年 3月31日	2021年 6月30日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2022年6月30日 定時株主総会	普通 株式	利益剰余金	1,004,958,383円	53,209円00銭	2022年 3月31日	2022年 6月30日

(リース取引関係)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1年内	476,805	470,945
1年超	1,562,983	1,092,037
合計	2,039,788	1,562,983

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用について財務内容の健全性を損なうことのないよう、主に安全性の高い金融資産で運用しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びに金融商品にかかるリスク管理体制

営業債権である未収委託者報酬、未収運用受託報酬は、主に当社が運用指図を行う信託財産より支弁され、当社は当該信託財産の内容を把握しており、当該営業債権の回収にかかるリスクは僅少であります。また、営業債権である未収投資助言報酬は、顧客の信用リスクに晒されており、投資助言先ごとに期日管理及び残高管理を行うとともに、四半期ごとに回収可能性を把握する体制としております。

未収入金は、取引先の信用リスクに晒されており、取引先ごとに期日管理及び残高管理を行うとともに、四半期ごとに回収可能性を把握する体制としております。

投資有価証券は全て事業推進目的で保有している証券投資信託であり、基準価額の変動リスクにさらされております。価格変動リスクについては、定期的に時価の把握を行い管理をしております。

差入保証金は、賃貸借契約先に対する敷金であり、差入先の信用リスクに晒されております。差入先の信用リスクについては、資産の自己査定及び償却引当規程に従い、定期的に管理をしております。

営業債務である未払手数料、並びにその他未払金は、1年以内の支払期日です。また、長期未払金は、本社家賃のフリーレント期間分のうち1年超の支払期日分です。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度 (2021年3月31日)

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金・預金	7,648,171	7,648,171	-
(2) 未収委託者報酬	1,490,727	1,490,727	-
(3) 未収運用受託報酬	130,764	130,764	-
(4) 未収投資助言報酬	258,067	258,067	-
(5) 未収入金	113,842	113,842	-
(6) 投資有価証券 その他有価証券	4,362	4,362	-
(7) 長期差入保証金	300,000	287,140	12,859
資産計	9,945,937	9,933,077	12,859
(1) 未払手数料	461,104	461,104	-
(2) その他未払金	479,258	479,258	-
負債計	940,362	940,362	-

(*) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	前事業年度 (2021年3月31日)
長期未払金	138,492千円

長期未払金については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。

当事業年度（2022年3月31日）

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 投資有価証券 その他有価証券	6,531	6,531	-
(2) 長期差入保証金	300,000	284,045	15,954
資産計	306,531	290,576	15,954
(1) 長期未払金	86,543	86,624	81
負債計	86,543	86,624	81

(*) 現金は注記を省略しており、預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収投資助言報酬、預り金、未払手数料及びその他未払金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから注記を省略しております。

(注) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（2021年3月31日）

	1年以内 (千円)	1年超 5年以内 (千円)	5年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金・預金	7,648,171	-	-	-
未収委託者報酬	1,490,727	-	-	-
未収運用受託報酬	130,764	-	-	-
未収投資助言報酬	258,067	-	-	-
未収入金	113,842	-	-	-
投資有価証券 その他有価証券のうち 満期のあるもの	-	-	3,261	-
長期差入保証金	-	300,000	-	-
合計	9,641,574	300,000	3,261	-

当事業年度（2022年3月31日）

	1年以内 (千円)	1年超 5年以内 (千円)	5年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
投資有価証券 その他有価証券のうち 満期のあるもの	-	960	3,595	-
長期差入保証金	-	300,000	-	-
合計	-	300,960	3,595	-

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

投資有価証券はすべて投資信託であり、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2019年7月4日）第26項に従い、経過措置を適用した投資信託は記載していません。貸借対照表における当該投資信託の金額は6,531千円であります。

時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

(千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計

長期差入保証金	-	-	284,045	284,045
資産計	-	-	284,045	284,045
長期未払金	-	-	86,624	86,624
負債計	-	-	86,624	86,624

(注) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

長期差入保証金 長期差入保証金の時価の算定は、その将来キャッシュフローを、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しており、レベル3に分類しております。

長期未払金 長期未払金の時価の算定は、その将来キャッシュフローを、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しており、レベル3に分類しております。

(有価証券関係)

1. その他有価証券

前事業年度 (2021年3月31日)

区分	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他(投資信託)	4,362	4,000	362
小計	4,362	4,000	362
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他(投資信託)	-	-	-
小計	-	-	-
合計	4,362	4,000	362

当事業年度 (2022年3月31日)

区分	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他(投資信託)	1,008	1,000	8
小計	1,008	1,000	8
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他(投資信託)	5,523	6,000	476
小計	5,523	6,000	476
合計	6,531	7,000	468

2. 事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

区分	売却額 (千円)	売却益の合計額 (千円)	売却損の合計額 (千円)
その他(投資信託)	1,012	12	-

当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

区分	売却額 (千円)	売却益の合計額 (千円)	売却損の合計額 (千円)
その他(投資信託)	2,145	145	-

3. 減損処理を行った有価証券

該当事項はありません。

（デリバティブ取引関係）

当社はデリバティブ取引を全く利用しておりませんので該当事項はありません。

（退職給付関係）

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付企業年金制度及び退職一時金制度を併用しております。

なお、当社が有する確定給付企業年金制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金（前払年金費用）及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、前払年金費用の期首残高と期末残高の調整表

前払年金費用の期首残高	9,979	千円
退職給付費用	145,682	"
退職給付の支払額	-	"
制度への拠出額	67,527	"
前払年金費用の期末残高	223,189	"

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	695,521	千円
年金資産	918,984	"
	223,462	"
非積立型制度の退職給付債務	273	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	223,189	"
前払年金費用	223,189	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	223,189	"

(3) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	145,682	千円
----------------	---------	----

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付企業年金制度及び退職一時金制度を併用しております。

なお、当社が有する確定給付企業年金制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金（前払年金費用）及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、前払年金費用の期首残高と期末残高の調整表

前払年金費用の期首残高	223,189	千円
退職給付費用	56,072	"
退職給付の支払額	-	"
制度への拠出額	73,530	"
前払年金費用の期末残高	240,647	"

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	764,992	千円
年金資産	1,005,913	"
	240,920	"
非積立型制度の退職給付債務	273	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	240,647	"
前払年金費用	240,647	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	240,647	"

(3) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	56,072	千円
----------------	--------	----

（ストック・オプション等関係）

該当事項はありません。

（税効果会計関係）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

	前事業年度 (2021年3月31日)		当事業年度 (2022年3月31日)	
繰延税金資産				
賞与引当金繰入限度超過額	47,581	千円	50,737	千円
未払事業税	13,802	"	23,129	"
資産除去債務	69,676	"	69,825	"
未払賃借料	58,313	"	42,406	"
その他	31,870	"	50,556	"
繰延税金資産小計	221,244	"	236,654	"
評価性引当額	69,676	"	69,825	"
繰延税金資産合計	151,567	"	166,829	"
繰延税金負債				
資産除去費用	68,071	"	63,406	"
前払年金費用	68,340	"	73,686	"
その他有価証券評価差額金	111	"	-	"
繰延税金負債合計	136,523	"	137,093	"
繰延税金資産の純額	15,044	"	29,735	"

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	前事業年度 (2021年3月31日)		当事業年度 (2022年3月31日)	
法定実効税率 (調整)	30.62	%	-	%
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.03	"	-	"
評価性引当額の増減	5.27	"	-	"
雇用拡大促進税制の特別控除	1.90	"	-	"
住民税均等割	0.09	"	-	"
税効果会計適用後の法人税等の負担率	34.11	%	-	%

(注) 当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しています。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

（資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

本社施設の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を主たる資産の取得から耐用年数満了時（15年）としており、割引率は0.214%を適用しております。

3. 当該資産除去債務の総額の増減

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
期首残高	62,571	千円	227,552	千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	227,390	"	-	"
時の経過による調整額	162	"	486	"

資産除去債務の履行による減少額	62,571	〃	-	〃
期末残高	227,552	〃	228,039	〃

(賃貸等不動産関係)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

2. 収益を理解するための基礎となる情報

「注記事項（重要な会計方針）の4. 重要な収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当社の事業は、資産運用サービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	投資信託 （運用業務）	投資信託 （販売業務）	投資顧問 （投資一任）	投資顧問 （投資助言）	その他収益	合計
外部顧客への 営業収益	6,334,125	11,877	1,871,659	550,486	6,666	8,774,814

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	投資信託 （運用業務）	投資信託 （販売業務）	投資顧問 （投資一任）	投資顧問 （投資助言）	その他収益	合計
外部顧客への 営業収益	7,916,562	40,707	2,132,888	438,441	10,000	10,538,599

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれん償却額及び未償却残高に関する情報]

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社の親会社及び法人主要株主等

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	250,000	生命保険業	(被所有)直接92.86	資産運用サービスの提供、当社投信商品の販売、及び役員の兼任	投資助言報酬	409,787	未収投資助言報酬	223,460
							支払手数料	484,387	未払手数料	154,440

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	150,000	生命保険業	(被所有)直接92.86	資産運用サービスの提供、当社投信商品の販売、及び役員の兼任	運用受託報酬	159,741	未収運用受託報酬	175,715
							支払手数料	547,750	未払手数料	163,207

(注1) 取引条件ないし取引条件の決定方針等

運用受託報酬並びに支払手数料については、契約に基づき決定しております。

(注2) 上記取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

親会社情報

明治安田生命保険相互会社(非上場)

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	510,522円46銭	518,527円74銭
1株当たり当期純利益金額	45,174円95銭	53,209円83銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1株当たり純資産額

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	9,642,237	9,793,433
普通株式に係る純資産額(千円)	9,642,237	9,793,433
差額の主な内訳	-	-
普通株式の発行済株式数(株)	18,887	18,887
普通株式の自己株式数(株)	-	-
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	18,887	18,887

1株当たり当期純利益金額

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益(千円)	853,219	1,004,974
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	853,219	1,004,974
普通株式の期中平均株式数(株)	18,887	18,887

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

委託会社の最近中間会計期間における経理の状況

1. 中間財務諸表の作成方法について

委託会社である明治安田アセットマネジメント株式会社（以下「委託会社」という。）の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条・第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間会計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人の中間監査を受けております。

中間財務諸表

中間貸借対照表

(単位：千円)

当中間会計期間末 (2022年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金・預金	9,503,409
未収委託者報酬	1,549,792
未収運用受託報酬	684,687
未収投資助言報酬	20,613
その他	221,466
流動資産合計	11,979,969
固定資産	
有形固定資産	
建物	1,632,528
器具備品	1,227,154
建設仮勘定	77,511
有形固定資産合計	937,194
無形固定資産	
ソフトウェア	154,559
ソフトウェア仮勘定	66,904
無形固定資産合計	221,463
投資その他の資産	
投資有価証券	7,361
長期差入保証金	300,000
長期前払費用	14,222
前払年金費用	207,094
繰延税金資産	28,277
投資その他の資産合計	556,955
固定資産合計	1,715,614
資産合計	13,695,584

当中間会計期間末
(2022年9月30日)

負債の部

流動負債

預り金	2,846,177
未払手数料	514,122
未払法人税等	170,862
賞与引当金	166,291
その他	2,598,304
流動負債合計	4,295,758

固定負債

長期末払金	60,568
資産除去債務	228,283
固定負債合計	288,852

負債合計

4,584,610

純資産の部

株主資本

資本金	1,000,000
資本剰余金	
資本準備金	660,443
その他資本剰余金	2,854,339
資本剰余金合計	3,514,783

利益剰余金

利益準備金	83,040
その他利益剰余金	
別途積立金	3,092,001
繰越利益剰余金	1,421,592
利益剰余金合計	4,596,633

株主資本合計

9,111,417

評価・換算差額等

その他有価証券評価差額金	443
評価・換算差額等合計	443

純資産合計

9,110,974

負債・純資産合計

13,695,584

中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益	
委託者報酬	3,946,037
受入手数料	25,021
運用受託報酬	1,162,312
投資助言報酬	53,880
その他収益	5,333
営業収益合計	5,192,585
営業費用	
支払手数料	1,044,502
その他営業費用	1,601,164
営業費用合計	2,645,666
一般管理費	¹ 2,088,641
営業利益	458,276
営業外収益	² 2,343
営業外費用	1,230
経常利益	459,389
特別利益	-
特別損失	-
税引前中間純利益	459,389
法人税、住民税及び事業税	135,261
法人税等調整額	1,510
法人税等合計	136,772
中間純利益	322,616

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783
当中間期変動額				
剰余金の配当				
中間純利益				
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）				
当中間期変動額合計	-	-	-	-
当中間期末残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783

	株主資本				
	利益剰余金				株主資本 合計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
別途積立金		繰越利益 剰余金			
当期首残高	83,040	3,092,001	2,103,933	5,278,975	9,793,758
当中間期変動額					
剰余金の配当			1,004,958	1,004,958	1,004,958
中間純利益			322,616	322,616	322,616
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	-	-	682,341	682,341	682,341
当中間期末残高	83,040	3,092,001	1,421,592	4,596,633	9,111,417

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	325	325	9,793,433
当中間期変動額			
剰余金の配当			1,004,958
中間純利益			322,616
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	117	117	117
当中間期変動額合計	117	117	682,459
当中間期末残高	443	443	9,110,974

[注記事項]

(重要な会計方針)

当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	
その他有価証券	
時価のあるもの	
中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）	
2. 固定資産の減価償却方法	
(1)有形固定資産	
定額法	
なお、主な耐用年数は次のとおりであります。	
建物 6年～18年	
器具備品 3年～20年	
(2)無形固定資産	
定額法	
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。	
3. 引当金の計上基準	
(1)賞与引当金は、従業員賞与の支給に充てるため、当中間会計期間に見合う支給見込額に基づき計上しております。	
(2)退職給付引当金は、従業員に対する退職金の支払に備えるため、当中間会計期間末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を、簡便法により計上しております。	
4. 重要な収益及び費用の計上基準	
投資信託委託業務及び投資顧問業務については、日々の純資産総額に対してあらかじめ定めた料率を乗じた金額を収益として認識しています。	

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当中間会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、中間財務諸表に与える影響はありません。

また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うこととしております。

(中間貸借対照表関係)

当中間会計期間末 (2022年9月30日)	
1 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。	
建物	92,841千円
器具備品	371,485千円
2 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。	

(中間損益計算書関係)

当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
1 当中間会計期間末の減価償却実施額は次のとおりであります。	
有形固定資産	74,168千円
無形固定資産	26,791千円
2 営業外収益のうち主なもの	
保険契約返戻金・配当金	2,013千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)					
1. 発行済株式に関する事項					
株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当中間会計期間末	
普通株式	18,887株	-	-	18,887株	
2. 自己株式に関する事項 該当事項はありません。					
3. 新株予約権等に関する事項 該当事項はありません。					
4. 配当に関する事項					
(1)配当金支払額					
決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2022年6月30日 定時株主総会	普通株式	1,004,958,383円	53,209円00銭	2022年3月31日	2022年6月30日
(2)基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間後となるもの 該当事項はありません。					

(リース取引関係)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：千円)

当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
1年内	476,805
1年超	874,142
合計	1,350,947

(注) 中途解約不能な定期建物賃借契約における契約期間内の地代家賃を記載しております。

(金融商品関係)

1. 金融商品の時価等に関する事項

2022年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、現金は注記を省略しており、預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収投資助言報酬、預り金及び未払手数料は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、注記を省略しております。

(単位：千円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)投資有価証券 その他有価証券	7,361	7,361	-
(2)長期差入保証金	300,000	277,586	22,413
資産計	307,361	284,947	22,413
(1)長期未払金	60,568	60,645	77
負債計	60,568	60,645	77

2. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券	-		-	
その他の有価証券	-	7,361	-	
資産計	-	7,361	-	

(2) 時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
長期差入保証金	-	-	277,586	277,586
資産計	-	-	277,586	277,586
長期未払金	-	-	60,645	60,645
負債計	-	-	60,645	60,645

(注) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

投資有価証券 解約又は買戻請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限のない投資信託は基準価額を用いて評価しており、活発な市場における相場価格とはいえないことから、レベル2の時価に分類しております。

長期差入保証金 長期差入保証金の時価の算定は、その将来キャッシュフローを、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しており、レベル3に分類しております。

長期未払金 長期未払金の時価の算定は、その将来キャッシュフローを、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しており、レベル3に分類しております。

(有価証券関係)

1. その他有価証券

当中間会計期間末(2022年9月30日)

(単位:千円)

	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他(投資信託)	2,201	2,000	201
小計	2,201	2,000	201
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他(投資信託)	5,159	6,000	840
小計	5,159	6,000	840
合計	7,361	8,000	638

2. 当中間会計期間中に売却したその他有価証券

当中間会計期間末(2022年9月30日)

(単位:千円)

区分	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他(投資信託)	977	-	22

3. 減損処理を行った有価証券

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

当中間会計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

資産除去債務のうち中間貸借対照表に計上しているもの

当中間会計期間における当該資産除去債務の総額の増減は次のとおりであります。

期首残高	228,039千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	-
時の経過による調整額	244千円
当中間会計期間末残高	<u>228,283千円</u>

(賃貸等不動産関係)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当社の事業は、資産運用サービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

当中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	投資信託 (運用業務)	投資信託 (販売業務)	投資顧問 (投資一任)	投資顧問 (投資助言)	その他	合計
外部顧客への売上高	3,946,037	25,021	1,162,312	53,880	5,333	5,192,585

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれん償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり純資産額	482,393円92銭
1株当たり中間純利益金額	17,081円42銭

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
中間純利益金額(千円)	322,616
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る中間純利益金額(千円)	322,616
普通株式の期中平均株式数(株)	18,887

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- (1) 自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (2) 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (3) 通常の実行の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下（4）（5）において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行うこと。
- (4) 委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- (5) 上記（3）（4）に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

(1) 定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要となります。

(2) 訴訟事件その他の重要事項

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

(2022年3月31日現在)

名称	資本金の額 (百万円)	事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

(2022年3月31日現在)

名称	資本金の額 (百万円)	事業の内容
株式会社SBI証券	48,323	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	17,495	
明治安田生命保険相互会社	980,000	保険業法に基づき生命保険業を営んでいます。

明治安田生命保険相互会社の資本金の額は「基金」および「基金償却積立金」の合計額です。

2【関係業務の概要】

(1) 受託会社

受託銀行として、ファンドの信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡、その他付随する業務等を行います。なお、受託会社は、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することがあります。

(2) 販売会社

ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、受益者に対する運用報告書の交付、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行います。

3【資本関係】

(1) 受託会社

該当事項はありません。

(2) 販売会社

販売会社である明治安田生命保険相互会社は、委託会社の株主であり、その保有株は17,539株（持株比率92.86%）です。

〔参考情報：再信託受託会社の概要〕

1. 名称、資本金の額及び事業の内容

（2022年3月31日現在）

名称	資本金の額 (百万円)	事業の内容
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	10,000	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

2. 関係業務の概要

受託会社との信託契約（再信託契約）に基づき、当ファンドの信託事務の一部（信託財産の管理）を委託され、その事務を行うことがあります。

3. 資本金関係

該当ありません。

第3【参考情報】

委託会社は、当計算期間において、次の書類を提出しております。

2022年 6月 9日 有価証券報告書、有価証券届出書

2022年12月 9日 半期報告書、有価証券届出書

独立監査人の監査報告書

2022年6月2日

明治安田アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

熊木 幸雄

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

小林 広樹

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理の状況」に掲げられている明治安田アセットマネジメント株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの第36期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、明治安田アセットマネジメント株式会社の2022年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性

があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2023年5月19日

明治安田アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森重 俊寛指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福村 寛

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている明治安田TOPIXオープンの2022年3月11日から2023年3月10日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、明治安田TOPIXオープンの2023年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、明治安田アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表

示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

明治安田アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2022年11月17日

明治安田アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 熊木幸雄指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林広樹**中間監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている明治安田アセットマネジメント株式会社の2022年4月1日から2023年3月31日までの第37期事業年度の中間会計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、明治安田アセットマネジメント株式会社の2022年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間会計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。